

朝鮮の肥料

目次

第一總說	一
------	---

第二肥料改良增施獎勵	二
------------	---

一、一般方針	二
--------	---

二、自給肥料ノ増産獎勵	二
-------------	---

(一) 第一次自給肥料増産計畫	二
-----------------	---

(1) 期間及目標	二
-----------	---

(2) 施設ノ概要	四
-----------	---

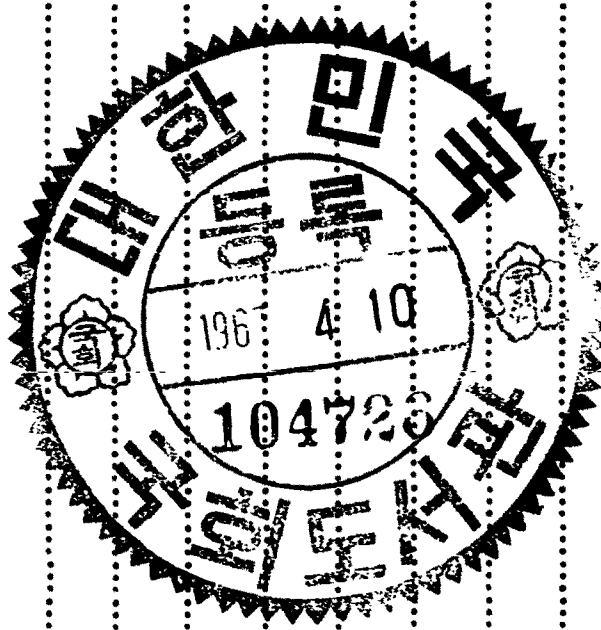
(3) 所要經費	六
----------	---

(4) 實施成績	七
----------	---

(二) 第二次自給肥料増産計畫	一〇
-----------------	----

(1) 趣旨	一〇
--------	----

(2)	期	間		一〇
(3)	目	標		一〇
(4)	施	設		一二
(5)	所	要		一四
(三) 第二次自給肥料増産更改計畫				
(1)	趣	旨		一四
(2)	期	間		一五
(3)	目	標		一五
(4)	施	設		一六
(5)	所	要		一八
三、販賣肥料ノ獎勵				
(一) 農事改良低利資金ノ融通				
(1)	本	資		二〇
	金	貸		二一
	付	方		二一
	法			二一
(2)	肥	料		二六
	低	利		二六
	資	金		二六
	貸	付		二六
	累	年		二六
	表			二六
(二) 肥料配給改善事業計畫				
				二七
				二七



(1) 施行ノ目的及目標	二七
(2) 施行ノ機關及組織	二八
(3) 實施狀況	二八
(三) 肥料統制	三〇
四、肥料取締	三一
(一) 施行ノ趣旨	三一
(二) 取締ノ方法	三一
(三) 取締成績	三一
五、土性調査計畫	三七
第三 肥料需給狀況	四〇
一、概況	四一
二、關係表	四二
第一表 販賣肥料製造高表	四三
第二表 販賣肥料輸入高表	四五

第三表	販賣肥料移入高表	四六
第四表	販賣肥料輸出高表	四八
第五表	販賣肥料移出高表	五〇
第六表	肥料製造原料供用高表	五一
第七表	販賣肥料消費高表	五七
第八表	綠肥・堆肥ノ生産高表	六〇
第九表	自給肥料消費高表	六二
第十表	耕地一反歩當肥料消費高表	六三
第十一表	農家一戸當肥料消費高表	六四

第四 附 錄……………六五

一、	朝鮮肥料取締令	六五
二、	肥料取締法	六六
三、	朝鮮肥料取締令施行規則	六九
四、	朝鮮重要肥料業統制令	七九

五、朝鮮重要肥料業統制令施行期日ノ件	八三
六、朝鮮重要肥料業統制令施行規則	八二
七、朝鮮臨時肥料配給統制令	八八
八、朝鮮臨時肥料配給統制令施行期日ノ件	八九
九、朝鮮臨時肥料配給統制令第一條ノ規定ニ依ル粗製加里鹽類ノ輸入及販賣ニ關スル件	八九
一〇、過燐酸石灰、石灰窒素、粗製加里鹽類等肥料輸出許可規則	九〇
一一、朝鮮肥料販賣價格取締規則	九三
一二、特殊農產物種子需給調整規則	九三

朝鮮の肥料

第一總說

始政以前ニ於ケル朝鮮ノ農法ハ所謂掠奪式ニシテ地力極端ニ消耗シ主要作物ノ反當收量ノ如キ内地ノ半バニモ及バザルガ如キ狀態ナリシヲ以テ始政以來先ヅ以テ地力ノ恢復ヲ圖ル爲自給肥料ノ増産ニ努メ來リタリシガ爾來民度ノ向上、施肥ニ對スル觀念ノ發達ニ伴ヒ大正八年以降ハ販賣肥料中安全ナルモノノ獎勵ニ着手シ漸次其ノ施用ノ増加ヲ見ルニ至レリ

更ニ昭和ニ入リテヨリ産米増殖計畫ノ更新、産繭百萬石計畫、田作改良増殖計畫、棉作獎勵計畫等各種農産増殖計畫ノ樹立進展ニ伴ヒ益々施肥ノ増加ヲ要スルモノアリ、依テ自給肥料ハ勿論販賣肥料ニ對シテモ積極的ニ獎勵スルノ要アルヲ認メ昭和元年度肥料改良増施獎勵計畫ヲ樹立シ又農事改良低利資金（肥料購入資金ヲ含ム）融通ノ途ヲ開キ更ニ昭和三年朝鮮肥料取締令ヲ實施シ近クハ昭和十年度ヨリ系統農會ヲシテ肥料ノ配給改善事業ヲ施行セシムル等肥料ノ生産増加、品位ノ保全並廉價供給ニ努ムルト共ニ之等肥料ノ施用法ヲ完カラシムルガ爲昭和十一年度ヨリ土性調査ヲ實施シ更ニ昭和十二年朝鮮重要肥料業統制令ヲ次デ昭和十三年朝鮮臨時肥料配給統制令ヲ施行シ以テ肥料經濟ノ改善ニ努メツツアリ

第二 肥料改良増施獎勵

一、一般方針

朝鮮ノ風土ハ元來農業ニ恰適シ其ノ天惠ニ於テハ内地ニ比シ敢テ劣ルトコロナキニ不拘主要農作物ノ反當收量ニ於テハ略内地ニ對シ朝鮮一ニ過ギザルハ其ノ原因種々アルベシト雖モ永年無肥料ニテ掠奪農法ヲ行ヒタル結果著シク地力ヲ瘠薄ナラシメタルハ其ノ主因ナルヲ以テ將來肥料ノ施用ヲ獎勵スルコトヲ以テ方針トシ其ノ手段トシテハ當時ニ於ケル農家ノ經濟狀態竝肥料智識ノ程度ニ鑑ミ先ヅ以テ自給肥料ノ増産ヲ圖リ尙不足スル部分ハ適當ナル販賣肥料ヲ以テ之ヲ補給セムコトヲ期シタリ

二、自給肥料ノ増産獎勵

自給肥料ノ増産獎勵ハ朝鮮ニ於ケル肥料獎勵ノ根本方針トシテ始政以來極力之ガ増産ニ努メ來リタルモ天然綠肥ニ在リテハ諸種ノ事情ヨリシテ多クヲ望メザル狀態ナリシヲ以テ先ヅ栽培綠肥竝堆肥ノ増産ヲ圖ルコトトセリ其ノ概要次ノ如シ

(一) 第一次自給肥料増産計畫

(1) 期間及目標

本計畫ハ昭和元年度ノ創始ニ係リ同年度以降十箇年ヲ第一期トシテ其當時最急ヲ要スルモノト認メラレタ

ル自給肥料ノ増産ヲ圖ルコトトシ當初昭和十年度ヲ期シ堆肥四十四億萬貫綠肥七億萬貫合計五十一億萬貫ノ肥料ヲ自給セムコトヲ期シタリシガ昭和六年以降從來ノ実績ニ鑑ミ原計畫ノ一部ヲ更改シ昭和十年度ニ於テ堆肥六十六億萬貫綠肥八億萬貫計七十四億萬貫ノ肥料ヲ自給セムコトヲ目標トスルニ至リタリ

年次増産目標表

年 別	綠 肥 栽 培 面 積				收 量				堆肥生 產 量	合 計
	紫雲英	青刈大豆	ベツチ	計	紫雲英	青刈大豆	ベツチ	計		
計畫直前	三、七五七・九 ^町	二二、七二三・三 ^町	— ^町	二六、四七七・二 ^町	一四、二八〇 ^{千貫}	三八、六三三 ^{千貫}	— ^{千貫}	五三、八九三 ^{千貫}	一、九二二、五七五 ^{千貫}	一、九六五、四七〇 ^{千貫}
昭和元年	九、二七〇・〇	二六、一〇三・七	—	三五、三七二・七	三五、六九〇	四四、六八〇	—	八〇、三七〇	二、一八六、〇〇〇	二、二九六、三〇〇
昭和二年	一六、九八七・〇	二九、四九二・一	—	四六、四七九・一	六六、二四九	五三、〇八六	—	一一九、三三五	二、三九八、〇〇〇	二、五一七、三三五
昭和三年	二九、一二三・六	三三、八八一・五	—	六二、九九五・一	一一四、九九九	六〇、八三一	—	一七五、八三〇	二、六七三、〇〇〇	二、八四八、八三〇
昭和四年	四一、二四〇・二	三九、六〇〇・二	—	八〇、九四〇・四	一六四、九六一	七五、三五四	—	二四〇、三三五	二、八六五、〇〇〇	三、一〇五、三五五
昭和五年	六七、四三九・三	四四、八七六・三	七、七七七・〇	一二二、〇四五・五	二六九、七七七	四四、八七六	三〇、九四八	三四六、五四一	四、一八〇、〇〇〇	四、五二六、五四一
昭和六年	七七、六八二・三	五一、二五九・二	一一、七七七・〇	一四〇、六四四・四	三二〇、四七三	五一、二五九	四六、九四八	四〇八、六八〇	四、六四四、〇〇〇	五、〇五二、六八〇
昭和七年	八七、八〇七・二	五九、六四三・一	一九、七六〇・〇	一六四、一七五・三	三三三、三三九	五六、六四三	七八、九〇四	四八七、七七五	五、一四八、〇〇〇	五、六三五、七七五
昭和八年	九七、九九六・三	六三、〇三五・〇	三三、六〇〇・〇	一九三、六六七・二	三九一、九九五	六三、〇三五	一三〇、四三四	五八四、四三四	五、六三三、〇〇〇	六、二一六、四三四
昭和九年	一〇八、一八五・二	六七、四〇七・九	四五、四六〇・〇	二三二、〇七九・一	四三三、七四一	六七、四〇八	一八一、九四四	六八二、〇九三	六、一六六、〇〇〇	六、七九八、〇九三
昭和十年	一二八、三七四・三	七三、七九〇・八	五八、三六〇・〇	二四九、五三三・〇	四七三、四九七	七三、七七一	二三三、四六四	七七九、七五三	六、六〇〇、〇〇〇	七、三七八、七五三

(2) 施設ノ概要

前記方針ニ基キ販賣肥料ノ獎勵ニ關スル積極的施設ハ少時之ヲ措キ自給肥料ノ獎勵就中綠肥ノ増殖並堆肥ノ増産ニ全力ヲ舉グルコトトセリ

一、綠肥ノ栽培獎勵

(イ) 綠肥種子費補助

昭和元年ヨリ同五年迄ハ先ヅ以テ從來綠肥栽培ニ付經驗ヲ有スル南鮮六道ニ對シ紫雲英、青刈大豆ヲ普及スルコトトシ之ガ所要種子代ニ對シ補助金ヲ交付セシモ西北鮮地方ニ於ケル綠肥ノ獎勵ハ當時試驗的獎勵ニ止メタリシガ昭和五年度綠肥適否試驗終了ノ結果全鮮的ニ「ベツチ」栽培ノ有望ナルコトヲ認メタルヲ以テ昭和六年度以降ニ於テハ從來獎勵シ來レル紫雲英、青刈大豆ノ外ニ新ニ「ベツチ」ヲ加ヘ全鮮的ニ綠肥ノ普及ヲ圖ルコトトシ毎年新規栽培面積一反歩ニ付其ノ種子代トシテ五十錢以內ヲ補助スルコトトセリ

(ロ) 綠肥指導里洞設置費補助

集中的ニ綠肥ノ栽培ヲ指導スル爲昭和元年度以降同五年迄ハ從來綠肥ヲ栽培セル南鮮六道ニ對シテノミ一郡當三箇所宛ノ指導里洞ヲ設置セシムルコトトシタルモ昭和六年度以降ニ於テハ綠肥ノ全鮮的普及ニ伴ヒ左ノ通り綠肥指導里洞ヲ設置スルコトトシ各指導里洞ニ一名ノ指導員ヲ置キ其ノ手當トシテ一人年

五十圓以内ヲ補助スルコトセリ

南鮮四道（全南北）ニ對シテハ一郡當 六箇所

中鮮二道（忠南北）同 五箇所

西北鮮七道（京畿以北ノ七道）同 四箇所

二、堆肥ノ獎勵

(1) 堆肥指導里洞設置費補助

集中的ニ堆肥ノ増製ヲ指導スルタメ昭和元年度以降同五年迄ハ

南鮮六道ニ對シテハ 一郡當 三箇所

中部以北七道ニ對シテハ 一郡當 五箇所

ノ指導里洞ヲ設置スルコトセルモ昭和六年度以降ニ於テハ左ノ通り指導里洞ヲ設置セシメ各指導里洞ニ一名ノ指導員ヲ置キ其ノ手當トシテ一人年五十圓以内ヲ補助スルコトセリ

南鮮四道（全南北）ニ對シテハ 六箇所

中鮮二道（忠南北）同 七箇所

西北鮮七道（京畿以北ノ七道）同 八箇所

三、肥料智識ノ普及

肥料講習講話會費補助

本補助ハ昭和六年度以降新設セルモノニシテ郡面技術員ノ肥料智識ノ向上ヲ期セムガ爲講習又ハ講話會ヲ開催シ其ノ旅費トシテ一郡當五十圓以內ヲ補助スルコトトセリ

四、肥料獎勵技術員ノ設置

以上肥料獎勵事務ニ從事セシムル爲昭和元年度以降同五年迄ハ各道ニ産業技師一名ヲ設置セシガ昭和六年度以降ニ於テハ新ニ産業技師一名ヲ増置シ右人件費ノ三分ノ二（一道當三、五〇〇圓）以內ヲ補助スルコトトセリ

(3) 所要經費

前各項ノ施設ヲ爲スニ要スル年度別所要經費左ノ如シ

年 別	綠 肥 種 子 費 補 助				綠肥指導里洞		堆肥指導里洞		肥料講習講話會費補助		肥料獎勵技術員設置費補助		合 計
	紫雲英	青刈大豆	ベツチ	計	設置費補助	設置費補助	設置費補助	設置費補助	補助費	補助費	補助費	補助費	
昭和元年													100,000
同 二 年													234,500
同 三 年													216,600
同 四 年													210,800
同 五 年													204,000

同 十年	同 九年	同 八年	同 七年	同 六年
五〇、九四五 (一〇、八九・〇)	五〇、九四五 (一〇、八九・〇)	五〇、九四五 (一〇、八九・〇)	五〇、九四五 (一〇、八九・〇)	五〇、九四五 (一〇、八九・〇)
二六、九二五 (五、三八二・九)	二六、九二五 (五、三八二・九)	二六、九二五 (五、三八二・九)	二六、九二五 (五、三八二・九)	二六、九二五 (五、三八二・九)
一〇、〇〇〇 (四、〇〇〇・〇)	一〇、〇〇〇 (四、〇〇〇・〇)	一〇、〇〇〇 (四、〇〇〇・〇)	一〇、〇〇〇 (四、〇〇〇・〇)	一〇、〇〇〇 (四、〇〇〇・〇)
九七、八六〇 (一九、五七一・九)	九七、八六〇 (一九、五七一・九)	九七、八六〇 (一九、五七一・九)	九七、八六〇 (一九、五七一・九)	九七、八六〇 (一九、五七一・九)
五三、〇〇〇 (一、〇六〇箇所分)	五三、〇〇〇 (一、〇六〇箇所分)	五三、〇〇〇 (一、〇六〇箇所分)	五三、〇〇〇 (一、〇六〇箇所分)	五三、〇〇〇 (一、〇六〇箇所分)
七九、〇〇〇 (一、五〇〇箇所分)	七九、〇〇〇 (一、五〇〇箇所分)	七九、〇〇〇 (一、五〇〇箇所分)	七九、〇〇〇 (一、五〇〇箇所分)	七九、〇〇〇 (一、五〇〇箇所分)
一一、〇〇〇 (三、〇〇箇所分)	一一、〇〇〇 (三、〇〇箇所分)	一一、〇〇〇 (三、〇〇箇所分)	一一、〇〇〇 (三、〇〇箇所分)	一一、〇〇〇 (三、〇〇箇所分)
技師(三人) 助手(三人)	技師(三人) 助手(三人)	技師(三人) 助手(三人)	技師(三人) 助手(三人)	技師(三人) 助手(三人)
三〇、六〇〇	三〇、六〇〇	三〇、六〇〇	三〇、六〇〇	三〇、六〇〇

備考 實行豫算ニ於テハ昭和六年以降一割五分乃至二割程度ヲ減額セラレタル爲自昭和元年至昭和十年十箇年間國庫補助總額ハ二百五十萬三千百七十五圓ナリ

(4) 實 施 成 績

(イ) 堆 肥

年別		計		實績	
昭和元年	實施直前	製造豫定數量	全耕地反當量	製造量	反當製造量
		製造農家一戸當			
		二、一三八、〇〇〇	四九	三、六〇三、五三三	八三
		一、九二二、五七七	四九		

叙上ノ如ク第一次計畫ニ於テハ大體豫期ノ實績ヲ收メ農家經濟ノ更生ニ資スルトコロ少シトセズ又一面農

昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年
面積 收穫 當高	面積 收穫 當高	面積 收穫 當高	面積 收穫 當高	面積 收穫 當高	面積 收穫 當高	面積 收穫 當高	面積 收穫 當高	面積 收穫 當高
一六、九八七・〇 六六、二四九 三九〇	二九、一三六 一一、四九六 三九五	四一、二四〇・二 一六四、九六一 四〇〇	六七、四三九・二 二六九、七一一 四〇〇	七七、六一八・三 三二〇、四七三 四〇〇	八七、八〇七・三 三五一、二九 四〇〇	九七、九九六・三 三九一、九八五 四〇〇	一〇八、一八五・三 四三三、七四二 四〇〇	二八、三七四・二 四七三、四九七 四〇〇
三〇、四三九・三 一四三、八四〇 五三八	五、四三三・七 一七〇、〇〇六 三五四	六七、八七七・八 二九、一九三 三四三	八二、一三九・七 一八五、四六九 二五三	七二、一八七・〇 二五、四七三 三七八	八五、九八九・四 二二〇、一四三 二九七	九六、六三四・三 二八六、五〇六 三三三	一〇五、〇三八・六 三一一、一八 二九六	一〇七、五〇・八 二八五、四三八 二八三
二九、四九二・一 五三、〇八六 一八〇	三、八八一・五 六〇、八三二 一八五	三九、六六〇・二 七五、三五四 一九〇	四五、八七六・一 四九、八七六 一〇〇	五一、二五九・三 五、二五九 一〇〇	五、六四二・一 五、六四三 一〇〇	六三、〇三三・〇 六二、〇三三 一〇〇	六七、四〇七・九 六七、四〇八 一〇〇	七三、七九〇・八 七三、七九一 一〇〇
四一、一八七・四 五三、〇八八 一六	四七、八四一・六 六三、七六四 一三三	五〇、八二九・七 四七、五八〇 九四	四九、三九八・一 六四、九六〇 一三三	五五、四八七・一 六九、七七三 一六	五九、〇八三・八 八六、二三五 一四七	六六、二二・四 九一、四四六 一八	七四、六一八・五 九四、四八三 一九	七三、〇三・三 一〇二、〇二四 一三
七、七七〇・〇 三〇、九四八 四〇〇				一一、七七〇・〇 四六、九四八 四〇〇	一九、七七〇・〇 七八、九四四 四〇〇	三、六〇六・〇 一三〇、四三四 四〇〇	四五、四八六・〇 一八一、九四四 四〇〇	五、三六六・〇 三三、四六四 四〇〇
九、六四四・九 三五、八七六 四三三				一七、六〇九・六 六二、一七三 四二	三、七七〇・九 九八、〇九九 三三四	四〇、五九五・〇 二九、八七四 三六七	五、三三一・三 二六、〇三三 三三	六、三三七・八 一五、一〇七 二七六
一、一七一・四 四、三七六	二、六七〇・四 一二、三二四	六、七五〇・〇 二八、二二四	五、九三・三 二、二三〇	一九三・五 一、二四七	一八九・七 七二〇	四七・四 一二三	二〇・四 六七	一〇・六 四四
四六、四九二・一 一一、三三五	六、一九九・一 一七五、八二九	八〇、九〇〇・四 二四〇、三三五	一一、〇四二・五 三六、四五一	一四〇、六四・四 四〇八、六八〇	一六四、一七五・三 四八七、七七五	一九二、六七二 五八四、四四四	三三、〇七九・一 六八二、〇九三	二四九、五三・〇 七九、七五三
七三、七八・二 二〇、三六四	一〇、九四四・七 二四六、〇八四	二五、四三三・五 二九四、九八六	一四、一七一・九 二八八、四三六	一四、五五・八 三八四、五五九	一七八、〇三・八 四一五、一八六	二〇三、四九・四 五〇七、九八六	三三、〇八・八 五七五、七〇〇	二五〇、七七・八 五五五、六〇三

民ノ勤勞精神ノ啓發、自給自足主義ノ徹底ニ貢獻セルモノ少カラザルモノアリタリ

(二) 第二次自給肥料増産計畫

(1) 趣 旨

自給肥料ノ改良増殖ニ關シテハ昭和元年度第一次計畫ヲ樹テ爾來十箇年間官民一致不斷ノ努力ニ依リ略所期ノ成果ヲ舉ゲ得タリト雖モ昭和十年現在ノ自給肥料生産見込額ハ耕地反當二百十五貫ニ過ギズシテ耕地ノ地力ヲ維持スルニ必要ナル數量ニサヘ達セザルヲ以テ本計畫ニ依リ昭和二十年度ヲ期シ半島全耕地反當三百四貫ノ自給肥料ヲ施用セシメ以テ最少限度耕地ノ地力維持ヲ圖ラムトシ昭和十五年迄本計畫ニヨリ實施セリ

(2) 期 間

昭和十一年度以降十箇年

(3) 目 標

種 別	昭和十年現在生産高見込		昭和二十年完成		自昭和十一年増産量		同上一箇年當増産量	
	總生産量	耕地反當量	總生産量	耕地反當量	總生産量	耕地反當量	總生産量	耕地反當量
堆肥	六九、五二 萬ノ 一〇、四三	一七 貫	九五、八〇 萬ノ 一四、七七	二三 貫	二九、二五 萬ノ 四、三六	六 貫	二九、二五 萬ノ 四、三六	一 貫
綠肥	八九、七四 萬ノ 一、七九	二〇	一二七、九八 萬ノ 二、五八	二九	三八、二四 萬ノ 七、五	九	三八、二四 萬ノ 七、五	〇・九

栽培緑肥	天然緑肥	下肥	灰肥	計
五、一五三 一、〇六三	三、五九三 七三三	一三、一八七 二、〇八八	三、四七八 一、五七四	九三、九六三 一五、八六〇
一二	八	三二	七	二五
八九、三八三 一、七八八	三八、六〇六 七三三	一九三、〇六 二、八八二	四〇、六五〇 二、〇三三	一、三四六、五〇〇 三三、六三二
二〇	九	四三	九	三〇四
三、二三〇 七三五	二、〇一三 四〇	五、九一九 七九四	九、一七三 四九	三九三、五八八 六、四〇三
八	一	一二	二	八九
三、六三〇 七二・五	二〇一・三 四・〇	五、二九一・九 七九・四	九一七・三 四五・九	三九、二五八・八 六四〇・三
〇・八	〇・一	一・三	〇・二	八・九

註 本表中下肥トアルハ人糞尿・糞灰・糞土・鳥糞・牛豚糞其ノ他糞尿類ノ全部ヲ包含セルモノトス

附 栽培緑肥増産計畫内譯

種別	昭和十年現在生産見込			昭和二十年目標			自昭和十年至同二十年増産量		同上一箇年當増産量	
	作付面積	收量	反當收量	作付面積	收量	反當收量	作付面積	收量	作付面積	收量
ベ ッ チ	畝三、七五町 田四、一四三 計七、八八八	一九、八三〇	三四三	一〇六、八六六町 三四、四三三 一四、〇〇八	五〇、六四四	三三九	八三、一一〇町 八三、一一〇	三〇、八二四	八三・二 八・三二	三、〇八二
紫 雲 英	七、三三三	二六、六六六	三六八	八〇、五〇〇	三〇、一五五	三七五	八、一二七	三、五九	八二	三・五三
青 刈 大豆	五〇、一八七	六、六九七	一三三	六二、九六五	八、五八四	一三五	一二、七七八	一、八八七	一、二七八	一八九
計	一八〇、四六八	五三、一五三	二九五	二八四、四七三	八九、三八三	三四四	一〇四、〇〇五	三六、三三〇	一〇、四〇一	三、六二三

(4) 施 設

(一) 綠肥ノ新規普及費補助

從來綠肥ノ新規普及獎勵補助トシテハ紫雲英、青刈大豆、ベツチ等ニ對シ種子代ノ補助ヲナシ來リタルモ紫雲英、青刈大豆ハ相當普及スルニ至リタルヲ以テ今後ハ自家採種ヲ獎勵シ之ガ種子代ノ補助ハ全廢スルコトトシ最近ノ獎勵ニ係ル「ベツチ」ノ畝ノ新規栽培ノモノニ限り種子費補助、種土配付費補助、季節的指導員補助ヲナサムトシ合計反當六十錢ヲ補助セムトス

(イ) 種子費補助

從來紫雲英、青刈大豆、「ベツチ」ニ對シ畝田ヲ通ジ反當四十錢ヲ補助シ來リタルモ本計畫ニ在リテハ最近普及獎勵ニ係ル「ベツチ」ノ畝ノ新規栽培ノモノニ限り反當四十錢ノ補助ヲナサムトス

(ロ) 種土ノ配付費補助

綠肥ノ新規擴張栽培地ニハ土壤中ニ根瘤菌ノ存在ヲ見ザルガ爲ニ生育不良ナル事例多キヲ以テ新規栽培地ニハ種土若ハ人口培養菌ヲ配付シ之ガ配付費ニ對シ反當十錢ノ補助ヲナサムトス

(ハ) 季節的指導員設置費補助

綠肥普及ノ當初ニ在リテハ全ク不用意ニ之ヲ栽培シ爲ニ失敗ニ陷ルモノ頗ル多ク繼續栽培上支障尠ナカラザル狀況ニシテ特ニ朝鮮ノ如ク地味瘠薄天候變調ナル所ニ在リテハ周到ナル栽培ヲ講ズルニ非ザレバ

其ノ成功困難ナル實情ニ在ルヲ以テ季節的ニ且ツ短期間ニ濃厚ナル指導督勵ヲ要スル時期ニハ臨時指導員ヲ設置セシムルコトトシ之ニ對シ反當十錢ヲ補助セムトス

(二) 肥料講習講話會費補助

農家ニ對シ肥料ノ智識ヲ普及セシメムガ爲ニハ先ヅ以テ之ガ指導ニ當ル郡、面技術員ノ肥料智識ノ向上ヲ圖ルノ要アルヲ以テ之等ニ對シ從來講習又ハ講話會ヲ開催シ其ノ所要旅費ノ一部トシテ一郡當二十圓宛ヲ補助セムトス

(三) 肥料獎勵技術員設置費補助

本補助ニ付テハ從來道在勤技術員設置費補助トシテ産業技師一名産業技手一名ヲ設置シ來リタルモ農家ニ接觸シ之ガ實地指導ニ當ルベキ郡ニハ專任ノ技術員ヲ缺キ爲ニ最近ニ於テハ多端ナル肥料事務ノ處理並監督指導ニ手不足ヲ來シ所期ノ目的ヲ達成スルコト至難ナル狀況ニ鑑ミ本計畫ニ在リテハ從前通各道ニ産業技師一名産業技手一名ヲ設置スルノ外一四五箇郡ニ專任技術員ヲ設置シテ多端ナル肥料獎勵事務ニ當ラシメムトスルモノニシテ之ガ設置費ニ對シ左ノ通補助セムトス

道	産業技師	一人年	二、〇五八圓
	産業技手	一人年	一、一五二圓
郡	技術員	一人年	五〇〇圓

(5) 所要經費

前各項ノ施設ヲナスニ要スル所要經費左ノ如シ

費目	年額	總額
一、綠肥新規普及費補助	四九、八六六 _円	四九八、六六〇 _円
種子費補助	三三、二四四	三三二、四四〇
種土配付費補助	八、三一	八三、一一〇
季節的指導員設置費補助	八、三一	八三、一一〇
二、肥料講習講話會費補助	四、四〇〇	四四、〇〇〇
三、肥料獎勵技術員設置費補助	一一四、二三〇	一一四二、三〇〇
計	一六八、四九六	一、六八四、九六〇

(三) 第二次自給肥料増産更改計畫

(1) 趣旨

第二次計畫タル昭和十一年ヨリ同二十年迄ノ十箇年間ニ於テ耕地反當三〇四貫ニ増加スベク技術員ノ設置、種子及種土費ノ補助、季節的指導員ノ設置、講習、講話會ノ開催等ノ施設ニ對シ國庫補助ヲ爲シ來リタル處前半期ニ於ケル實績ヲ觀ルニ其ノ成績概シテ芳シカラズ就中栽培綠肥ニ在リテハ氣象關係、種子ノ不

足、指導力ノ不足、栽培法ノ未熟及裏作麥ノ擴張ニ依ル維持面積ノ減少等ノ原因ニ依リ概シテ不良ナル狀況ナリ。亦堆肥ニ在リテモ現在ノ材料關係ヨリ觀レバ今後大量ノ増産ハ期待シ得ズ。然ルニ現下ノ農業界ノ情勢ハ舉ゲテ食糧其ノ他農産物ノ増産ヲ期スベキ重大期ニ直面シ之ニ必要ナル肥料ノ供給ハ極メテ重要事項ナル處販賣肥料ノ大量増産ハ不可能ナル今日不足肥料ノ補給ハ自給肥料ニテ爲サザルベカラザル情勢ニ在ルヲ以テ當初ノ計畫ニ再檢討ヲ加ヘ夫々必要ナル施設特ニ栽培綠肥ノ増産ニ主力ヲ注グコトトセリ

(2) 期 間

昭和十六年以降五箇年

(3) 目 標

種 別	昭和十五年生産見込		昭和二十年ノ完成目標		五箇年間ノ増産量		同上一箇年當増産量	
	生産量	耕地反當	生産量	耕地反當	生産量	耕地反當	生産量	耕地反當
堆 肥	七二、六〇〇 萬貫	一七二 貫	九二、五〇〇 萬貫	二〇七 貫	一五、九〇〇 萬貫	三六 貫	三、九八〇 萬貫	七二 貫
綠 肥	七五、五三七	一七	一二七、四〇六	二九	五、八六九	二三	一〇、三七四	二・四
栽 培 綠 肥	四六、八三七	一二	一〇〇、七六六	二三	五、八六九	二三	一〇、三七四	二・四
天 然 綠 肥	二六、七〇〇	六	二六、七〇〇	六	—	—	—	—
下 肥	一六〇、〇〇〇	三六	二〇〇、〇〇〇	四五	四〇、〇〇〇	九	八、〇〇〇	一・八
灰 肥	四〇、〇〇〇	九	四〇、〇〇〇	九	—	—	—	—

種 別	昭和十五年生産見込		昭和二十年ノ完成目標		五箇年間ノ増産量		同上一箇年當増産量	
	生産量	耕地反當	生産量	耕地反當	生産量	耕地反當	生産量	耕地反當
計	一、〇三七、 一八七	三三三	一、二八八、 九六	二九〇	三五一、 七六九	五七	五、 三三	二、 四

註 本表中下肥トアルハ人糞尿・糞灰・糞土・鳥糞・牛糞豚糞其ノ他糞尿類ノ全部ヲ包含セルモノトス

附 栽培綠肥増産計畫内譯

種 別	昭和十五年生産見込			昭和二十年ノ完成目標			五箇年間ノ増産量			同上一箇年當増産量		
	面積 付	收 量	反當 量	面積 付	收 量	反當 量	面積 付	收 量	反當 量	面積 付	收 量	反當 量
ヘアリーベツチ	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二〇、 六三	三三三	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二〇、 六三	三三三	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二〇、 六三	三三三	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二〇、 六三	三三三
紫雲英	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二、 四〇〇	三三三	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二、 四〇〇	三三三	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二、 四〇〇	三三三	計田畝 六、三〇〇〇 三、三〇〇〇	二、 四〇〇	三三三
青刈大豆	計田畝 四、 三〇〇〇	三、 四〇〇	二二	計田畝 四、 三〇〇〇	三、 四〇〇	二二	計田畝 四、 三〇〇〇	三、 四〇〇	二二	計田畝 四、 三〇〇〇	三、 四〇〇	二二
計	計田畝 一七、 六〇〇〇	四八、 八三七	二八五	計田畝 一七、 六〇〇〇	四八、 八三七	二八五	計田畝 一七、 六〇〇〇	四八、 八三七	二八五	計田畝 一七、 六〇〇〇	四八、 八三七	二八五

(4) 施設

(一) 綠肥栽培改良費補助

綠肥畝裏作新規擴張ニ對スル種子費、綠肥採種圃並ニ原種圃ノ設置費、根瘤菌ノ培養配付及綠肥栽培並施用試驗調查費トシテ左ノ通補助ス

(イ) 綠肥種子費補助

畝裏作栽培綠肥ノ新規擴張面積毎年 二〇、〇〇〇町步 (ヘアリーベッチ 紫 雲 英 一〇、〇〇〇町) ニ對シ反當六〇錢

(ヘアリーベッチ 六五錢 紫 雲 英 五五錢) ノ補助ヲ爲サムトス

(ロ) 綠肥根瘤菌培養配付費補助

畝裏作栽培綠肥ノ新規擴張面積毎年 二〇、〇〇〇町步ニ對シ根瘤菌ヲ培養配付スルコトトシ之ガ培養配付費トシテ反當一〇錢、初年度設備費トシテ反當一〇錢、計二〇錢ノ補助ヲ爲サムトス

(ハ) 綠肥採種圃設置費補助

綠肥優良品種ノ普及並栽培面積ノ維持、擴張ヲ確保スベク毎年ノ新規擴張面積 二〇、〇〇〇町步ニ要スル種子 六、〇〇〇石ヲ生産スルニ要スル採種圃 二、〇〇〇町步 (ヘアリーベッチ 紫 雲 英 一、〇〇〇町) (反當生産三斗) ヲ設置シ、反當二圓五〇錢 (ヘアリーベッチ 紫 雲 英 二圓七〇錢 二圓三〇錢) ノ補助ヲ爲サムトス

(ニ) 綠肥原種圃設置費補助

採種圃 二、〇〇〇町步ニ要スル原種 二〇〇石ヲ生産スルニ要スル原種圃 五〇町步 (ヘアリーベッチ 紫 雲 英 二五町) (反當四斗生産) ニ對シ反當二〇圓 (ヘアリーベッチ 紫 雲 英 七圓) ノ補助ヲ爲サムトス

(ホ) 緑肥試験調査費補助

道農事試験場ニ於ケル緑肥ノ栽培、採種、施用及優良品種ノ育成ニ對スル調査試験費トシテ十二箇道ニ對シ各五〇〇圓ノ補助ヲ爲サムトス

(二) 液肥利用獎勵費補助

液肥ノ利用ヲ徹底セシムルタメ農家ニ液肥溜ヲ設置セシムルコトトシ毎年一一、八一六戸ニ對シ一戸當五圓ノ補助ヲセムトス

(三) 肥料獎勵技術員設置費補助

技術員ノ設置ニ付テハ從來一三箇道ニ産業技師、産業技手各一名宛郡在勤技術員トシテ二二〇箇郡中一四五箇郡ニ地方産業技手又ハ郡農會技手各一名宛一四五名ヲ設置シ來リタル處現下ノ肥料及農業界ノ情勢ニ鑑ミ特ニ第一線指導技術員ノ擴充ハ緊急トセラルルニ至リタルヲ以テ前記郡技術員ヲ二二〇名(各郡一人當)ニ増加セムトシ右ニ對シ左ノ通補助ヲ爲サムトス

道	産業技師	一人年	二、〇五八圓
	産業技手	一人年	一、一五二圓
郡	技術員	一人年	六〇〇圓

(5) 所要經費

前各項ノ施設ヲ爲スニ要スル所要經費ハ左ノ通ナリ

費 目	年 額	總 額
一、綠肥栽培改良費補助	一二六、〇〇〇 _円	一、〇五〇、〇〇〇 _円
種子費補助	一二〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇
根瘤菌培養配付費補助	四〇、〇〇〇	一二〇、〇〇〇
採種圃設置費補助	五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
原種圃設置費補助	一〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
試驗調査費補助	六、〇〇〇	三〇、〇〇〇
二、液肥利用獎勵費補助	五九、〇七八	二九五、三九〇
三、肥料獎勵技術員設置費補助	一七三、七三〇	八六八、六五〇

三、販賣肥料ノ獎勵

始政當初ニ於テハ農家ノ經濟狀態貧弱ナルト農民ノ肥料ニ關スル智識幼稚ナリシ爲、販賣肥料ノ獎勵ヲ行ハズ寧ロ之ヲ抑制スルノ方針ヲ採リ來レルモ其ノ後農家ノ經濟狀態漸次潤澤トナリ且肥料ニ對スル知識モ向上シ進ムデ販賣肥料ヲ施用セムトスル者増加シ來リタルヲ以テ大正八年以來技術員指導ノ下ニ大豆粕其ノ他ノ有機質肥料ニシテ肥料成分確實施用法簡易ナルモノニ限り施用セシメタルモ昭和元年以降產米増殖計畫ノ

更新ニ伴ヒ一層積極的ニ之ガ獎勵ヲ加ヘ有機質肥料ノミナラズ無機質肥料（主トシテ化學肥料）ヲモ獎勵シ一面之ガ購入資金ノ融通ヲ圖ルト共ニ指導獎勵技術員ノ充實ヲ期シタル結果販賣肥料ノ需要ハ近年急激ナル増加ヲ來シ最近ニ於テハ其ノ消費額九千四百萬圓ヲ突破セル狀況ナリ

販賣肥料ノ獎勵施設概要ヲ述ブレバ次ノ如シ

（一）農事改良低利資金ノ融通

朝鮮ニ於ケル農家ノ經濟狀態ハ極メテ貧弱ニシテ資金ヲ要スル改良ハ遲々トシテ進展セズ亦一般民間資金ハ極メテ高率ニシテ農事改良上利用シ難キ狀態ナリシテ以テ產米増殖計畫更新ヲ機トシ肥料ノ増施其ノ他ノ農事改良ヲ期スル爲昭和元年ヨリ同十四年迄十四箇年ニ互リ低利ノ農事改良資金ヲ融通スルコトトシ其ノ金額ハ累年増加シテ昭和十四年ニ最高四千萬圓ニ達セシム可ク而シテ右ノ内二千萬圓ハ大藏省預金部ノ低利資金ニ之ヲ仰ギ残り二千萬圓ハ東洋拓殖株式會社及朝鮮殖產銀行ノ社債ニ依リ之ヲ調達スルモノトセリ、尙本資金ノ貸出ハ東洋拓殖株式會社及朝鮮殖產銀行ヨリ總額ノ各三割五分宛ヲ残り三割ヲ金融組合ヨリ貸出スルコトトシ肥料資金ハ資金總額ノ約九割以内トセリ、右ニヨリ獎勵ノ結果融通資金ハ毎年遞増シ一面農業經營ノ集約化ニヨリ益々資金融通ノ増額ヲ要ス可キ時ニ當リ昭和十年度ヲ以テ產米増殖計畫中止セラレ從ツテ本資金ノ新規取入ノ途モ絶タレタルヲ以テ別途大藏省ヨリ朝鮮肥料資金融通ノ途ヲ圖リ（貸付方法其ノ他農事改良低利資金ニ準ズ）昭和十年度二百萬圓、同十一年度三百萬圓、同十二年度六百萬圓、同十三年度九百萬

圓、同十四年度九百萬圓ノ融通ヲ受ケ之ニ同額以上ノ銀行、會社及組合資金ヲ加ヘ肥料資金トシテ貸出シタル結果前記農事改良低利資金融通額ト合シ昭和十四年度ニ於ケル貸付總額ハ約四千九百萬圓ニ達シ益々増加ノ趨勢ニアリ

(1) 本資金貸付方法 (東拓及殖銀取扱)

(一) 資金ノ用途

(イ) 肥料資金 (綠肥種子購入資金ヲ含ム)

(ロ) 農具資金

(ハ) 農藥資金

(ニ) 産米改良組合設備資金 (敷地購入資金ヲ除ク)

(ホ) 倉庫資金

(ヘ) 堆肥舍、厩舍設備資金 (附屬肥汁溜設備資金ヲ含ム)

(ト) 耕牛資金 (農會所有ノ種牛購入資金ヲ含ム)

(二) 貸付ヲ受クル主體

(イ) 地主

(ロ) 自作農

(ハ) 前二號ノ者ヲ以テ組織スル團體

(ニ) 農 會

但シ農會自ラ使用スル場合ハ倉庫資金、肥料資金、農具資金、農藥資金、耕牛資金、會員ニ貸付スル場合ハ耕牛資金ニ限り貸付ヲ受クルコトヲ得

(三) 貸 付

(イ) 貸付利率

一般貸付分 五分六厘

農會借受分 四分九厘

但シ耕牛資金ニアリテハ別途耕牛資金融通ニ關スル件通牒ニ基ク利率ニ依リ貸出スコト

(ロ) 貸付期間

(1) 肥料資金 一箇年以内

但シ秋期資金ハ貸付年度生産糶ヲ以テ償還財源トセザルモ償還確實ナルモノニ限り一箇年半以内トスルコトヲ得

(2) 農藥資金 一箇年以内

(3) 堆肥舍、厩舍設備資金 二箇年以内

(4) 耕牛資金

四箇年以内

(5) 農具資金

五箇年以内

(6) 産米改良組合設備資金

五箇年以内

(7) 倉庫資金

十箇年以内

上記ノ内肥料資金及農藥資金ヲ除キ定期又ハ年賦償還トス但シ耕牛資金ニ限リ一箇年据置三箇年年賦又ハ二箇年以内ノ一時償還トス

(ハ) 貸付限度及擔保

(1) 一口ノ最少限度

三百圓

(2) 擔 保

動産又ハ不動産ノ提供ヲ原則トス、但シ信用確實ナルモノニ限リ十名以上(但シ東拓ハ二十名以上)ノ連帶債務ヲ以テ貸付シ得ルモノトス

農會ニ對シテハ貸付金ヲ以テスル事業ガ失敗ニ歸スルモ尙右貸付金ノ返濟ヲナシ得ル限度ニ於テ信用貸付ヲ爲スモノトシ其ノ貸付金ノ査定標準ハ別紙ノ通トス

(ニ) 貸付ノ斡旋及其ノ順序

(1) 肥料資金

(甲) 郡又ハ農會ハ資金借入申込人ニシテ回收ノ見込確實ナリト認ムル者ニ對シ適當ト認ムル肥料ニ限

リ申込調書ヲ作成シ銀行又ハ會社ニ傳達ス

(乙) 銀行又ハ會社ハ右申込調書ニ依リ更ニ必要ナル調査ヲ行ヒタル上適當ト認ムル者ニ對シテハ郡又

ハ農會ヲ經由シテ資金貸付承認ノ通報ヲ爲ス

借入申込者肥料商店ヨリ現物ヲ受取リタルトキハ郡又ハ農會ノ受取證明書ヲ添附シ借用證書又會社
又ハ銀行ニ提出ス

會社又ハ銀行ハ右證明書及借用證書ヲ受取リタル上該商店ニ直接代金ヲ送付ス

(2) 肥料以外資金

成ルベク(一)ノ方法ニ準據シ購入ニ際シテハ充分ナル斡旋ヲ行フコト 但シ耕牛資金ニアリテハ別途

耕牛資金融通方法ニ關スル件通牒ニ依リ處理スルコト

(3) 東拓自己借受ノ場合ハ其ノ都度必ズ該當農會ニ對シ通知スルコト

(四) 償 還

郡又ハ農會ヲシテ責任ヲ以テ貸付金徴收ノ援助ニ當ラシム

(五) 借 換

本低利資金ヲ以テスル借換ヲ認メズ

(六) 指導及監督

道ハ道府郡島邑面及農會ヲ通ジ統一の計畫ヲ樹テ上述ノ貸付金償還ニ付充分ノ援助ヲ與フルト共ニ下記ノ如キ事項ニ對シ指導監督ヲ爲スコト

(イ) 低利資金ヲ其ノ貸付目的以外ニ使用セシメザルコト

(ロ) 購入肥料ノ施用ハ旱水害ノ虞ナキ耕地ニ限ラシムルコト

(ハ) 地主又ハ地主團體ガ低利資金ニ依リ肥料ヲ購入シ之ヲ小作人ニ分配貸與スル場合ニ於テハ其ノ貸付利率ハ低利資金ノ利率ヲ超ヘザルコト

(ニ) 前號ノ場合ハ別ニ手數料ヲ徴セシメザルコト

(ホ) 定租ノ場合ハ原則トシテ當分ノ間地主ヲシテ小作料ヲ増徴セシメザルコト、打、執租ノ場合ニ於テハ肥料代金ハ小作料ニ比例シ負擔セシムルコト

(ヘ) 右各項ヲ遵守セザル地主ニ對シテハ低利資金貸付ニ付相當考慮スルコト

(七) 購入方法

特別ノ場合ヲ除キ總テ系統農會ノ共同購入ニ依ルコト

○農會ニ對スル貸付金査定標準

(1) 倉庫資金、肥料資金、農具資金、農藥資金ノ貸付限度

農會ニ於ケル前三箇年ノ會費（家畜割ヲ除ク）ヲ平均シタルモノノ全額ニ基本財産タル現金（有價證券ヲ含ム）竝ニ不動産時價（畜産關係不動産ヲ除ク）ノ全額ヲ加ヘタル額以內

(2) 耕牛資金ノ貸付限度

農會ニ於ケル前三箇年ノ家畜、家禽及畜産物賣買仲介手数料及家畜割（舊畜産同業組合費）ノ合計額ヲ平均シタル額ニ畜産積立金及畜産關係不動産時價ノ全額ヲ加ヘタル額以內

(3) 運用成績良好ニシテ且財政狀態確實ナル農會ハ其ノ必要ニ應ジ特ニ前各項ノ貸付限度ノ倍額迄貸付ヲ受クルコトヲ得

(2) 肥料低利資金貸付累年表

資 金 年 度 別	東		拓	殖	銀 金 融 組 合	計
	一 般 貸 付	自 己 借 受				
昭 和 元 年	一、六二七、六四四 _円	一、一七〇、二〇七 _円	二、七九七、八七三 _円	一、一三四、三三七 _円	一、六四三、七七 _円	五、五五、八三三 _円
昭 和 二 年	一、五五八、五二〇	一、三三三、六九九	二、七八〇、二〇九	一、八〇五、四八〇	二、五七、六五二	七、一七三、三四〇
昭 和 三 年	二、一九三、八五七	一、三三七、八〇〇	三、四三〇、六七七	二、三三七、八九三	二、七二四、六七八	八、三六三、三三八
昭 和 四 年	二、三三五、一〇四	九八〇、六六四	三、三三五、七八八	二、四九八、二九〇	二、四九三、六〇九	八、三〇六、六七
昭 和 五 年	一、五五八、四一〇	七六三、一九六	二、三九、六〇六	二、〇三五、九五八	二、四八一、一〇七	六、八六、六七二
昭 和 六 年	一、六四四、一六三	七五、五九七	二、四二五、七五九	二、四〇八、一八四	二、四一八、四七七	七、二四三、三九〇

昭和七年	一、九八三、三九三	一、一〇八、四九二	三、〇九一、八八三	三、〇六一、三五五	三、一七四、一三四	九、三七、三三三
昭和八年	三、一二一、四七一	一、一二〇、六四九	四、二四二、一三〇	四、〇三一、一九五	四、三九一、六六〇	一三、六六四、九七六
昭和九年	四、八四四、三二一	一、五九七、九九七	六、四六二、二二八	六、五五九、六三九	七、九四五、四九	二〇、九四七、二〇六
昭和十年	九、一七三、五七七	一、三〇七、五〇七	一〇、四八一、〇三四	九、五三一、六四四	九、七七四、一五三	二九、七八六、九七二
昭和十一年	七、九〇八、八七九	一、九五九、〇三七	九、八六七、九〇六	七、六六六、四〇四	七、三九九、六六三	二四、九三三、九七三
昭和十二年	一三、三三三、七四七	一、八三五、五九〇	一五、一四九、三三七	九、一六〇、一七九	一一、一六六、四七	三五、四六六、〇六三
昭和十三年	一五、七三九、四五六	一、一七一、九三〇	一六、九二一、三六六	一一、一四〇、八二二	一三、〇四三、四三九	四一、〇七八、九〇七
昭和十四年	一七、六八二、三六七	三、〇六四、五三四	二〇、七四六、八九〇	一三、四五〇、四七四	一四、九六五、五〇一	四九、一六二、八六六

備考 資金年度ハ九月ヨリ翌年八月ヲ以テ一年度トス從ツテ元年度資金ハ昭和元年九月ヨリ昭和二年八月迄ノ間ニ於ケルモノヲ謂フ

(二) 肥料配給改善事業計畫

(1) 施行ノ目的及目標

鮮内ニ於ケル金肥ノ消費量ハ逐年躍進的ニ増加シ今後尙増加スルモノト豫想セラル

然ルニ現在農家一般ハ肥料ノ市況竝ニ取引事情ニ闇キ爲ニ多大ノ損害ヲ蒙リツツアリ殊ニ彼ノ内鮮間ノ肥料市價ニ不當ノ値開キアルガ如キ又季節的局部的ニ市價暴騰スルガ如キハ一ニ鮮内ニ於テ肥料ノ配給制度ノ不備ナルニ因リ起ル現象ニシテ眞ニ遺憾ニ堪ヘズ

右事情ニ鑑ミ從來各道郡農會ニ於テ農事改良低利資金ヲ利用シテ肥料ノ共同購入竝ニ共同配合ヲ施行シ來

リタル處其ノ成績顯著ニシテ其ノ共同購入價格ハ市價卸値ニ比シ五分乃至一割低廉ナルノミナラス延テ一般市價ヲ牽制スル效果アリ又其ノ共同配合ニ係ル配合肥料ハ肥効確實、價格低廉ニシテ實際使用農家ノ最モ歡迎スル所ナリ。然ルニ現行施設ハ其規模過小ニシテ之ガ恩惠ニ浴スルモノハ全鮮農家中僅々二割程度ニ過ギズ依ツテ昭和十年度ヨリ各道ヲシテ肥料配給五箇年計畫ヲ樹立セシメ昭和十五年ヲ期シ鮮内金肥總消費額ノ五割ヲ共同購入シ更ニ其ノ六割以上ヲ共同配合ニ附セムトス

(2) 施行ノ機關及組織

(イ) 郡農會ハ其ノ地區内ノ農業者、農事團體（水利組合、農事組合等）産業組合等ヨリノ購入依頼ニ係ル數量ヲ取纏メテ道農會ニ申出デ道農會ハ更ニ之ヲ朝鮮農會ニ申出デ朝鮮農會ハ本府當局ト協議シテ大規模ノ共同購入ノ斡旋ヲ行フ

(ロ) 朝鮮農會ハ便宜ノ箇所ニ肥料配合所ヲ設置シ農事試驗場ヨリ提示スル施肥處方箋ニ依リ肥料ノ共同配合ヲナス

(3) 實 施 狀 況

昭和十年九月實施機關ノ整備ヲ完了シ同年十月ヨリ本事業ノ實務ヲ採ルニ至リタルガ實施以來大體ニ於テ順調ナル經過ヲ辿リ、昭和十五肥料年度中ノ配合噸數約九百五十萬噸、金額約四千九百萬圓、單肥購入數量約二萬噸、金額約二百五十萬圓ニ達シ順調ナル發達ヲナシツツアリ、尙昭和十五年度ニ於ケル肥料配合所設

置狀況並道別幹旋高ハ左ノ如シ

(イ) 肥料配合所設置狀況表

場 所	一日ノ 配合力ノ 昭和十五 年度中ノ 配合噸數	一日ノ 配合力ノ 昭和十五 年度中ノ 配合噸數
仁川	二、三	一、一七三
清州	五、千	一、九〇
長項	九、千	四、三三
群山	九、千	一、〇一六
木浦	六、千	六、三三
麗水	五、千	四、九八
浦項	六、千	四、七三
金泉	六、千	五、二
釜山	六、千	七、三五
海州	五、千	四、四五
載寧	六、千	二、六五
鎮南浦	一、四、千	一、一、五五
新義州	一、二、千	九、七〇
鐵原	三、千	二、二
西湖津	六、千	七、八一
委託ノ	一、千	一、
計	二、〇、千	九、五〇〇

(ロ) 昭和十五肥料年度各道別幹旋高表

道 名	配		合		單		肥		計	
	數	量	金	額	數	量	金	額	數	量
京畿道	三、四、八五二	八、四八二	四、六四九、二四八・一六	四、一、〇五三、三六一・〇三	一、一、二二	一、一、二二	八、九、二八九・七四	一、四、六四〇・四三	三、五、六三	四、七三六、五七・九〇
忠清北道	三、三、四九	三、三、四九	三、〇五九、五六一・三八	一、〇五三、三六一・〇三	八、九三	一、五〇	七、七、三八・九五	一、四、六四〇・四三	八、六三三	一、〇六七、〇〇一・四六
忠清南道	三、三、三九	三、三、三九	四、四〇、五二・七九	四、四、九三三、二九二・六〇	一、八八九	一、八八九	一、五九、一七三・三九	二、九〇、四七〇・五九	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇
全羅北道	三、三、三三	三、三、三三	四、五七二、二六八・一六	四、五、七二二、二六八・一六	一、七九四	一、七九四	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇
全羅南道	三、三、三三	三、三、三三	四、五七二、二六八・一六	四、五、七二二、二六八・一六	一、七九四	一、七九四	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇
慶尙北道	三、三、三三	三、三、三三	四、五七二、二六八・一六	四、五、七二二、二六八・一六	一、七九四	一、七九四	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇
慶尙南道	三、三、三三	三、三、三三	四、五七二、二六八・一六	四、五、七二二、二六八・一六	一、七九四	一、七九四	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇
道	三、三、三三	三、三、三三	四、五七二、二六八・一六	四、五、七二二、二六八・一六	一、七九四	一、七九四	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇	三、三、二六七	四、四、九三三、二九二・六〇

道名	配		合		單		肥		計			
	數	量	金	額	數	量	金	額	數	量	金	額
黃海道		三九、五七九 _四		五、七〇九、九一・五三 _円		三、二四 _四		七九六、九三・〇五 _円		四三、七〇三 _四		六、五〇六、九四・五七 _円
平安南道		三五、四〇一		四、七八九、〇八・五九		九〇三		八八、二六七・七三		三六、三〇四		四、八七七、三五・三三
平安北道		三三、六四〇		五、四二二、四一・〇三		一、六〇〇		二二七、九三三・九一		三四、二四〇		五、五〇〇、七四・九三
江原道		一二、〇五五		一、六四七、八四・七九		一、四五一		二四、六六七・一六		一三、五〇六		一、七六二、五七・九三
咸鏡南道		二三、四一〇		三、六九八、九〇・六三		二、二一八		二八八、四七三・一八		二五、五三八		三、八八七、七七・八一
咸鏡北道		四、二〇〇		六四六、七〇・三九		七一		五、九七四・四〇		四、二七一		五三三、六六・九九
其他		一〇		一、〇五九・五〇		二四		二二、三九九・〇一		二三四		二四、四五一・五一
合計		三四五、七四四		四八、七三三、九六・一四		三〇、九〇七		二、四七四、三四・八一		三六六、六五二		五、二〇八、三五・九三

(三) 肥 料 統 制

販賣肥料消費額ノ躍進的增加ニ伴ヒ之ガ價格ノ公正ト需給ノ圓滑ヲ期スルハ農產物増殖上ヨリ觀ルモ、又農家經濟上ヨリスルモ極メテ重要ナ事項ナルヲ以テ昭和十二年三月朝鮮重要肥料業統制令ヲ施行シ、又硫酸アンモニア輸出入許可規則ヲ公布シ、硫安ノ供給確保ヲ圖リタルモ更ニ支那事變勃發ニ伴ヒ肥料ノ供給不足輸送困難等ノ事情發生スルニ及ビ肥料ノ供給確保、配給ノ圓滑、價格ノ公正ハ一層重要性ヲ加フルニ至レリ、右ニ對應シ昭和十三年一月朝鮮臨時肥料配給統制令ヲ公布施行シ、一層強力ナル統制ヲ行ヒ以テ非常時下ノ

農産資源確保ヲ圖ルコト、シ、肥料ノ販賣使用、消費、移動ニ關シ、必要適切ナル措置ヲ講ズルコトトセリ、即昭和十三年七月組製加里鹽輸入販賣ニ關シ規定シ、昭和十四年三月朝鮮肥料販賣價格取締規則ヲ公布シ、無機質肥料一二種、有機質肥料一種ノ肥料ニ就テ卸小賣ノ販賣價格ヲ公定シ、更ニ昭和十四年八月過磷酸石灰、石灰窒素、粗製加里鹽等肥料ノ輸出許可規則ヲ公布セリ、而シテ鮮内ニ於ケル肥料ノ配給ハ道別、郡別、面別ニ數量ノ割當ヲ行ヒ嚴重ナ統制ヲ施行セリ、其ノ概要ハ左ノ如シ

一、肥料ノ配給

(1) 割當數量ノ決定

(イ) 道ハ管内ニ於ケル當該肥料年度ノ月別、作物別、配給者別（農會、金融組合、肥料營業者）ノ需要見込量ヲ前肥料年度ノ六月十日迄本府ニ報告ス

(ロ) 本府ハ右ノ報告ヲ基礎トシ當該肥料年度ノ供給見込量及各道ノ從來ノ消費実績配給ノ事情等ヲ勘案シ、道別、配給者別ノ數量ヲ決定ス

(ハ) 道ハ割當ラレタル肥料ヲ、更ニ郡別ニ、郡ハ更ニ面別ニ、面ハ更ニ里洞別ニ配給者別ノ割當數量ヲ決定ス

(2) 配給ノ實施

(イ) 配給ノ機關 本府ハ中央ニ主要販賣業者及主要輸入業者ヲ以テ朝鮮中央肥料配給統制組合（以下

中央組合ト稱ス）ヲ組織セシム、中央組合ニ三部ヲ置キ第一部ニ於テハ無機質窒素肥料、化成肥料ヲ第二部ニ於テハ過磷酸石灰、移入調合肥料ヲ、第三部ニ於テハ有機質肥料ヲ夫々取扱フ

道ハ道内居住ノ中央組合特約店又ハ道知事ノ適當ト認ムル者ヲ以テ地方肥料配給統制組合ヲ組織セシメ、郡ハ郡内小賣店ヲ以テ小賣商組合ヲ組織セシム

(ロ) 配給ノ方法 中央組合ハ本府ニ於テ割當決定サレタ數量ヲ夫々農會、金融組合、地方組合ニ又地方組合ハ道ノ決定シタ割當數量ヲ小賣商組合及大地主農場等ニ、小賣商組合ハ一般消費者ニ對シ、本府、道、郡ノ指示監督ノ下ニ配給ス

二、價格 朝鮮肥料販賣價格取締規則ニ依リ公定セリ

四、肥料取締

(一) 施行ノ趣旨

各種農產増殖ノ進展ニ伴ヒ鮮内ニ於ケル販賣肥料ノ需要ハ逐年躍進的激増ヲ來シツツアルニ不拘鮮農ノ肥料ニ關スル智識ハ遅々トシテ進マズ其ノ大部分ハ肥料ノ實質鑑識力ヲ缺クノ狀態ニシテ此ノ間一部奸商ノ乗ズルトコロトナリ不正粗惡肥料ノ横行甚シク爲ニ農家ヲ被ル損害多大ナルノミナラズ延テハ農產物増產計畫ノ阻害スルモノアルヲ認メタルニ由リ是等ノ弊害ヲ除去セムトス

(二) 取締ノ方法

朝鮮肥料取締令(昭二、九、三)朝鮮肥料取締令施行規則(昭二、九、三)改正(昭四、一、二、二) (府一〇四號) (昭一三、二、三、八號)

朝鮮肥料取締令施行細則(昭二、一、二)ヲ夫々公布シ次デ昭和三年一月一日ヨリ是等取締法規ヲ施行セリ

右ニ關シ各道ニ一名宛(京畿慶南ハ二名)ノ肥料取締官吏ヲ置クノ外本府及農事試驗場ニ關係職員ヲ置ク

(三) 取 締 成 績

肥料取締實施ノ結果從前盛ニ行ハレタル肥料ノ偽造若ハ他物混和ノ如キ極端ナル犯罪ハ頓ニ其ノ數ヲ減シ販賣肥料ノ品位ノ改善ヲ來シツツアルノミナラズ肥料ノ樹賣ノ如キ弊風亦漸クニシテ匡正セラルル等肥料界革新ノ緒ニ就キタルモノト認ム

肥料取締關係表

1 肥料營業者數

年 別	製 造	輸 入	移 入	賣 買	計	肥料行商者數
昭和三年	二、〇三六	四九三	一七六	六、七二七	九、四四四	一、四三三
昭和四年	二、五五一	五二	一八七	七、八三三	一、一、一〇一	一、六六六
昭和五年	二、七九	四〇	一六	八、六九九	一、一、〇三四	一、八六二
昭和六年	二、六六六	四三	一七	七、八九七	一、一、一五	一、七七一
昭和七年	二、五三三	三八四	二三	七、五七八	一〇、六六六	一、六四四

2. 法規違反件數

年 別	告 發	免 許 取 消	營 業 停 止	營 業 制 限	諭 示	注 意	計
昭和三年	一七	一	一	一	三二七	三、三六〇	三、五三〇
昭和四年	一五	九	一	一	二二	一、一〇四	一、二二〇
昭和五年	一九	六	一	一	一七二	一、一三〇	一、三〇二
昭和六年	一九	一八三	一	一	三三七	二、〇六九	二、二〇六
昭和七年	九	二七九	一	一	二四三	一、一三一	一、三五四

年 別	製 造	輸 入	移 入	賣 買	計	肥料行商者數
昭和八年	三、三六八	二五五	二七	七、四三八	一〇、二六八	一、五〇四
昭和九年	三、五三三	三九	一〇四	七、六五三	一〇、六三八	一、三六九
昭和十年	三、八六一	三〇	二四	七、九三三	一一、二三八	一、三四九
昭和十一年	三、九七七	三七	二五	七、九七九	一一、三八八	一、三三二
昭和十二年	三、一二三	二五八	一〇四	六、四二二	九、八八七	一、〇三〇
昭和十三年	三、一九五	二四六	一〇四	五、二六七	八、八二三	七四四
昭和十四年	二、七八	二三〇	九	四、七三五	七、七九一	六八一
昭和十五年	二、七九六	二二	九二	四、〇〇一	七、〇九八	三〇四

昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年	昭和十年	昭和九年	昭和八年
一〇	二三	六	三	六	二	九	九
一四	一、〇〇〇	一、三〇〇	八四三	三六五	六四	六四	四八
		一	八	一			
二九	二五	二七	一六四	三〇三	二九	三三	三七
二五	一、一六	三三	六八〇	七九七	九七九	一、〇九〇	八四
四〇九	一、四三七	一、七二六	一、六九八	一、四三三	一、八二四	一、九五六	一、五五六

3. 肥料分析成績

昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	年別
計試道	計試道	計試道	分析件數
一、九三三	一、四四七	一、三〇六	一、二五五
一、六三九	一、五二二	八六六	同上中保證 票添付附肥料 分析件數
九	一四	一六	分 析 成 績
一三	二九	一八	一%以上不足
九	二八	一〇九	〇、五%以上 一%未滿不足
二二	二七	一四三	下〇、五% 不%足以
七	二	一七	計
			分析件數ニ對 スル不足歩合

年 別	昭 和 六 年	昭 和 七 年	昭 和 八 年	昭 和 九 年	昭 和 十 年	昭 和 十 一 年	昭 和 十 二 年	昭 和 十 三 年
分析 件 數	一、六〇四 二、四〇七	二、一〇三 二、九〇六	二、二九三 三、〇〇七	二、〇三三 二、六八九	二、三三〇 二、七〇九	一、八九五 二、五六一	一、五三三 二、〇九四	一、四七六 一、五〇二
同 上 中 保 證 票 添 付 附 肥 料 分 析 件 數	二、三五六	二、七二七	二、九六七	二、五九三	二、六七八	二、五〇六	一、九六〇	一、七二四
分 析 成 績	一 % 以 上 不 足	八	七	九	一三	九	二六	一六
	〇、 五 % 未 滿 不 足	一四	九	一六	一四	二四	三八	一五
	〇 五 % 以 上 不 足	二二	二四	八八	一二	一〇一	八九	九三
	計	一三五	一三〇	一二三	一四〇	一一〇	一五三	一二四
分 析 件 數 = 對 スル 不 足 歩 合	六	五	四	五	四	六	八	七

昭和十四年	昭和十五年
道試計	道試計
一、〇八〇 二、〇四〇 一、二八四	六二五 一〇〇 六二三
一、〇八九	四九八
四	一
五	一
二五	二
三	三
三	二

五、土性調査計畫

本調査ハ農業生産ノ根源タル耕地ノ性狀ヲ明ニシテ其ノ農業的價值ヲ定メ之ニ適應スル作物ノ種類並ニ耕種法ヲ決定セムトスルモノニシテ全鮮主要耕地ヲ調査シテ施肥處方箋ヲ作製シ農家ヲシテ施肥上誤ルトコロナカラシメムトス

- (一) 施行期間 昭和十一年以降十箇年
- (二) 調査面積

既耕地四百四十萬町歩ノ中水利安全畝七十七萬町歩、田八十三萬町歩（棉作面積三十五萬町歩、麥作面積四十八萬町歩）計百六十萬町歩

- (三) 施行機關

本府、本府農事試驗場、道農事試驗場

- (四) 施行方法

(1) 現地踏査班（道農事試驗場擔當）

道技手一名、雇員二名、傭人一名ヨリ成ル調査班ヲ置ク一班一箇年ノ調査能力二萬町歩トス從ツテ一箇年三十二萬町歩宛五箇年ヲ以テ百六十萬町歩ノ調査ヲ完了ス

(2) 採集土壤ノ化學的分析班（本府農事試驗場擔當）

技手一名、雇員二名ヨリ成ル分析班二班ヲ置ク一箇年現地踏査面積三十二萬町歩ヨリ土壤ヲ採集シ化學的分析ニ附スルモノハ總點數年三、二〇〇點トス

(3) 現地肥料試驗管理班（道農事試驗場水利組合 道郡農會擔當）

土性調査及土壤分析ノ結果ニヨリ順次其ノ翌年度ヨリ土性ヲ異ニスル地域毎ニ肥料試驗地ヲ置キ四箇年繼續ニテ試驗ヲ行フ

本試驗ノ管理ハ多大ノ人員ト經費トヲ要スルヲ以テ現地踏査班員ノ他、地方廳、農會、水利組合等ヲシテ之ガ施行ニ當ラシム

(4) 郡島別農用土性圖及施肥處方箋作製班（道農事試驗場本府農事試驗場 擔當）

前三項ノ調査試驗ノ結果調査開始後第六年目ヨリ第十年目迄五箇年間ニ亙リ調査郡島別農用土性圖及施肥處方箋ヲ作製配布ス

本件ハ第一項及ビ第二項ノ職員ヲシテ施行セシム

(5) 特殊土壤並代作試験班（本府農事試験場擔當）

前數項ニ依リ試験調査中相當數ノ特殊土壤地帶發見セラルベク又特定地域ニ對シテハ代作ヲ必要トスルニ至ルベキヲ以テ試験研究ヲ爲スモノトス

(6) 本府ハ本事業ノ監督ヲ爲ス

監督職員技師三名トス

(五) 所要經費（國庫支出額）

本府調査費	初年度	次年度以降	十箇年合計
本府農事試験場			
調査費	10,629 ^四	16,124 ^四	26,753 ^四
營繕費	10,098	11,006	21,104
計	20,727	27,130	47,857
地方廳			
調査費	71,055	91,766	162,821
營繕費	3,800	—	3,800
計	74,855	91,766	166,621
合 計	95,582	118,896	214,478

備考 第六年目以降ハ多少年額ニ増減アルモ大差無ギヲ以テ掲記セズ

現地土壤調査實績表

區別	種別	番	田	計
總耕地面積	總督府	一、六八九、七九〇町	二、七三六、九八三町	四、四二六、七三三町
	地方廳	七五五、一〇九	八三三、五五三	一、五八八、六六二
調査計畫總面積		二七五、三四一	四七七、六四六	七五三、九八七
計		一、〇四〇、四四五〇	一、三〇一、一九九	二、三四一、六四九
一箇年ニ調査スベキ面積	國費班	一六六、〇〇〇	一五四、〇〇〇	三三〇、〇〇〇
	道費班	五五、〇六八	九五、五三九	一五〇、五〇七
計		三三、〇六八	二四九、五三九	四七〇、五七七
昭和十一年度調査實績		五五、〇七四	一七、六四六	七二、七二〇
昭和十二年度調査實績		三三、七〇八	三三〇、四八七	四八八、九九五
昭和十三年度調査實績		三三、二九八	二二、一八三	四四〇、四八一
昭和十四年度調査實績		一七、〇七七	二〇八、七三二	二二五、八〇八
昭和十五年度調査實績		二五一、三四	一七二、六五五	三三三、九九九
調査實績ノ計		八四〇、四八一	八三三、七〇三	一、六七三、一八四

第三、肥料需給狀況

一 概 況

(1) 消費狀況

鮮内ニ於ケル肥料ノ需要ハ各種農産増殖計畫ノ進展及農家ノ肥料智識ノ向上ニ伴ヒ逐年著シキ増加ヲ來シ昭和十五年ニ於ケル肥料ノ消費額ハ總額四億六百萬圓ニ達シ内三億一千二百萬圓ハ自給肥料ニシテ九千四百萬圓ハ販賣肥料ナリトス

而シテ自給肥料ノ消費狀況ハ別表第九表ノ通トス

販賣肥料ノ需要ハ其ノ金額ニ於テ大正四年僅ニ三十三萬圓ナリシモノが大正十四年ニ於テハ九百十七萬圓十箇年間ニ二十八倍更ニ昭和十五年ニ於テハ約九千四百萬圓ニ達シ二十餘年間ニ二百八十八倍ノ激増ヲ示セリ

而シテ數量ノ増加率ハ單價ノ値下リニ因リ一層大ニシテ更ニ肥料成分ノ増加率ニ至リテハ成分單價ノ割安ナル肥料ヘノ轉換ニ因リ益々大ナリ

今是等主要販賣肥料ノ消費金額ヲ種類別ニ觀ルニ主成分タル窒素質肥料ニ於テハ昭和二年迄ハ大豆油粕主位ヲ占メ總消費額ノ五割以上ヲ占メ來リタリシガ同年度以降硫安其ノ他ノ空中窒素固定肥料ノ價格ノ下落ニ伴ヒ漸次轉換セラレ最近ニ於テハ逆ニ硫安ハ總消費金額ノ約二割五分ヲ占メ豆粕ハ二分ニ過ギザルニ至レリ

磷酸質肥料タル過磷酸石灰ニ付テ之ヲ見ルニ昭和元年ノ消費額僅ニ五十八萬圓ナリシモ昭和十五年ニ於テハ五百二十四萬圓ニシテ九倍ノ増加トナリ總消費金額ノ約六分ニ當レリ

右ノ如ク概シテ植物質肥料ヨリ礦物質肥料ヘ稀薄肥料ヨリ濃厚肥料ヘ推移スルト共ニ茲數箇年來更ニ單獨肥料ヨリ化成乃至調合肥料ニ轉ゼントスル傾向顯著ナルモノアリテ昭和元年ノ消費額僅ニ三十萬圓ニ過ギザリシモノガ十餘年後ノ昭和十五年ニ於テハ五千萬圓トナリ總消費額ノ約五割三分ニ相當セリ

(2) 製造輸入狀況

鮮内ニ於テ製造セラルル販賣肥料ハ從來魚肥類ヲ主トシ大豆油粕、棉實油粕等ノ外見ルベキモノナカリシガ、昭和五年朝鮮窒素肥料株式會社操業以來大量ノ硫安及硫磷安ノ產出ヲ見ルニ至リ更ニ昭和九年ヨリ過磷酸石灰及調合肥料ノ製造ヲモ開始シ茲ニ朝鮮ニ於ケル肥料ノ製造ハ頓ニ活氣ヲ呈スルニ至レリ

更ニ昭和十五年朝鮮化業工業株式會社ニテ尿素石膏、朝鮮日產化學株式會社ニテ過磷酸石灰ノ製造ヲ開始セリ

而シテ右鮮内製造肥料ノ中輸移出セラルルモノ魚肥類、硫安、化成肥料、大豆粕、棉實油粕、米糠等ニシテ逆ニ輸入セラルルモノハ大豆粕、硫安、過磷酸石灰、硫酸加里、調合肥料等ナリ

二、關係表

肥料需給ニ關スル詳細ナル統計次表ノ如シ

第一表

販賣肥料製造高表 (右數量 左金額 圓)

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
動物質肥料		九、七六一 六三〇、四六六	一四、三五五 一、五〇一、三〇九	七三、七六四 五、七七七、八〇六	一四四、五三三 九、八五五、八三四	一七八、七四三 一五、〇二二、四三一	二〇九、三三三 二〇、六二四、一二七	二二〇、七九〇 三三、一九三、九一八	一九九、八〇五 二四、九八七、五九六	三三五、四三一 四四、八六六、〇九九	二〇七、四三八 五、七〇九、六八七
魚肥類		九、三〇〇 五九三、八八七	一三、四三三 一、三六六、一二六	七二、八八七 五、六七四、六〇三	二二二、二九六 九、七五五、五九一	一七七、七三三 一四、九四六、二七五	二〇八、一六一 二〇、五四三、一二八	二二九、三三三 三三、〇八三、八〇八	一九八、六三四 二四、八七五、六〇八	三三三、六六八 四四、六〇二、一二三	三〇五、五九四 五、二九六、〇三六
其ノ他ノ動物質肥料		四六一 二七、五七九	一、九三三 一四四、一八三	八七七 五三、二〇三	一、二二七 七四、二二三	一、〇一〇 六六、一五六	一、〇七一 七一、九九九	一、四八四 一〇九、一一〇	一、一七一 一一、九八八	一、七六三 二二、九七三	一、八四四 四二、六六一
植物質肥料		三一、一七四 三二〇、二三四	八五、一〇四 二、三七四、九三二	七四、七八九 一、七〇一、七五三	八八、六六六 二、八五六、四〇〇	九八、五二三 二、八三六、八四七	一〇三、二二八 三、五四三、七〇三	一二三、一三七 四、三四四、八七〇	一二三、〇一〇 六、二七七、八六一	一〇三、一〇四 八、三三九、〇五九	五、六八六 六、二六四、六〇九
油粕類		二、二九七 九九、〇三五	一二、五三四 一、一〇一、二三五	一七、〇一七 八七七、五八四	三七、五九五 二、〇五〇、四五三	三三、九三八 一、八二〇、三八六	二、六四五、四三八 二、六四九、四三八	三、〇六九、九三六 三、〇六九、九三六	四、七五三、六二三 四、七五三、六二三	七、九〇一、〇二七 七、一七〇、三八三	五、三八七、七九九 五、三八七、七九九
大豆油粕		一四九 六、一三八	三〇三 二二、七三五	八、九〇四 四八五、四二二	二六、八九六 一、五四七、八二〇	一七、四八五 一、一六〇、二〇五	二二、九九〇 一、五五五、三三九	二二、四一一 一、七六二、三六八	三〇、七〇六 二、六九二、三八三	三三、〇三三 二、九〇六、一六八	一〇、七二七 一、三二七、五二七
棉實油粕		二四 五七五	七、三三五 六六八、一六五	六、五四七 三三〇、二九六	八、八〇三 四一七、五三二	九、二三三 四四四、四一三	一一、八三八 六四〇、二四五	一〇、六六七 七二六、四〇七	一一、〇三五 八二五、七八五	一三、七五九 一、四四四、五三五	一二、三〇四 二、一六三、三八八
其ノ他ノ油粕類		二、一二四 九三、三三三	四、八九七 四一〇、三四五	一、五六六 七一、八七六	一、八九五 八五、一一二	七、二三〇 三三五、七六八	一三、八五七 四四九、八五四	二〇、六二五 七二八、二五一	二七、二二三 一、三三四、四四五	三三、三三五 二、七九六、六八九	一五、七二八 一、九六二、八八一
其ノ他ノ植物質肥料		二八、八七七 二二一、一九九	七二、五八〇 一、二七三、六九六	五七、七七三 八二四、一六九	五二、〇七一 八〇五、九四八	六四、五七五 一、〇六六、四六一	五四、五三三 八九七、二六五	六七、四四三 一、一五七、九四四	五四、〇六七 一、五三五、二四八	三四、〇八七 一、一四八、六七七	一三、九二七 九五七、八二三
礦物質肥料		四六八 五七、三〇〇	一、五三九 二六三、四九三	二八七、一〇四 二八、八四七、四〇三	三七八、七七九 三六、〇〇六、六五二	四六六、三三八 四六、三三〇、八二五	五三四、七七八 六二、二五九、〇五三	六二六、二一九 六二、四九四、〇八九	五九三、八七四 五八、八四三、五六一	六四一、〇四五 七〇、〇四〇、四九七	五七〇、四三三 六、二二四、一八〇

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
硫酸アンモニア		五、三〇〇	一、三三三 二五、七五〇	二四七、〇一九 三三、八三三	三三〇、四一四 三、七九〇	三三〇、四一四 一、六四四	三三六、七二一 四、四八一	四三三、三三九 四、二七五	四二五、八五七 四、二二七	四六九、七五九 四、五〇六	四二七、六四三 四、五〇六
石灰窒素											
過磷酸石灰											
硫磷安				四、四八五 四、四八五	五、四三三 六、八二五	六、八二五 七、八二五	八、八二五 九、八二五	一〇、八二五 一、〇六六	一、〇六六 二、〇六六	一、〇六六 二、〇六六	二、〇六六 三、〇六六
硫加燐安											
其ノ他ノ礦物質肥料			一、四七三 三、七四三								
調合肥料			三、八六七 二五、八四二	一、九〇二 一四九、四〇三	三、七六三 三〇、九六〇	八、一七九 七、〇三三	一四、五七四 一、三六六	一七、八八八 一、七六六	三〇、六〇五 三、三九一	三三、八二三 三、五二四	三六、九四一 三、八二四
一般營業者製造ノ分											
農會製造ノ分											
其ノ他ノ肥料											
合計		四、三六三 九八、〇〇〇	一〇四、八六五 四、三六三	四七、四六三 四、三六三	五、五七二 五、五七二	八、五七二 三、六四三	九、五七二 三、六四三	一、〇六六 一、〇六六	一、〇六六 一、〇六六	一、〇六六 一、〇六六	一、〇六六 一、〇六六

備考 一、大正十四年以前ハ報告例販賣肥料需給狀況ニ依リ、昭和八年以降ハ朝鮮肥料取締令施行規則ニ基ク各道ノ報告ニ依ルモノトス

第二表

二、調合肥料ノ原料トシテ使用シタル額ハ之ヲ各種肥料ヨリ控除セザルニ依リ調合肥料ハ各種肥料ト重複セルモノナリ
三、固形肥料ヲ單ニ粉碎スル行爲ニ對シテモ肥料製造ノ免許ヲ要スルヲ以テ粉末肥料トソノ原料ニ供シタル固形肥料ト重複セルモノナリ

四、本表ニ使用セル數量ノ單位換算（貫ヲ匁ニ換算）次ノ如シ（以下各表同様）

一貫ハ 三・七五匁
一匁ハ 一、〇〇〇匁

販賣肥料輸入高表
（右數量 左金額 圓匁）

種別	年次	動物質肥料	骨血角肉類	蛹及蛹油粕	植物質肥料	大豆油粕	菜種油粕	其ノ他油粕
	大正四年				一、六三三 六、五九	一、六三三 六、五九		
	大正十四年	一、三三三 六、〇九〇		一、三三三 六、〇九〇	五、二二六 四、四〇〇、二八三	五、二二六 四、四〇〇、二八三	一、五二五 一、四六、四八五	
	昭和八年				二、〇〇、三〇四 一、八八、二七五	二、〇〇、三〇四 一、八八、二七五		
	昭和九年				四、五、二九七 二、四四、二七	四、五、二九七 二、四四、二七		一、二四三 三、〇〇
	昭和十年				三、三、三三 二、六一、五七	三、三、三三 二、六一、五七		
	昭和十一年	三、三九六 四、五	三、三九六 四、五		二、〇三、五五 二、〇三、五五	二、〇三、五五 二、〇三、五五		二、二〇一 三、四三
	昭和十二年				二、三、二五 二、一〇〇、五七四	二、三、二五 二、一〇〇、五七四		二、四、一七〇 三、〇七
	昭和十三年				二、五〇、三三 二、五〇、三三	二、五〇、三三 二、五〇、三三		
	昭和十四年				三、三、五八四 二、四三、八四	三、三、五八四 二、四三、八四		二、八、五八三 二、八、五八三
	昭和十五年				一、二、六六 二、〇六、二六	一、二、六六 二、〇六、二六		五、〇八 五、〇八

備考 大正十四年以前ハ朝鮮貿易年報ニ依リ昭和八年以降ハ朝鮮肥料取締令施行規則ニ基ク各道報告ニ依ルモノトス

販賣肥料移入高表	（左）金額	（右）數量
	圓	瓊

種別	年次	大正十四年以前ハ朝鮮貿易年報ニ依リ昭和八年以降ハ朝鮮肥料取締令施行規則ニ基ク各道報告ニ依ルモノトス
動物質肥料	大正十四年	六、七、七
	昭和八年	六、三、七
	昭和九年	一、一
	昭和十年	一、一
	昭和十一年	一、一
	昭和十二年	一、一
	昭和十三年	一、一
	昭和十四年	二、四、二
	昭和十五年	一、一
礦物質肥料	大正十四年	一、五、二
硫酸アンモニア	大正十四年	一、五、二
石灰窒素	大正十四年	一、五、二
化成肥料	大正十四年	一、五、二
調合肥料	大正十四年	一、五、二
其ノ他ノ肥料	大正十四年	一、五、二
合計	大正十四年	一、五、二
	昭和八年	一、五、二
	昭和九年	一、五、二
	昭和十年	一、五、二
	昭和十一年	一、五、二
	昭和十二年	一、五、二
	昭和十三年	一、五、二
	昭和十四年	一、五、二
	昭和十五年	一、五、二

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
鹽化加里				一、五八四	一、四〇四	四〇、三九六	三三、二五六	一、八六四	三三、八四〇		一、一七五、九六〇
化成肥料				一、八八六	一〇、六九四	一、二〇六六	一、八、三三三	一、七、八八二	一、四、六四四	七五四、二二三	
其ノ他											
調合肥料				一、三三、三三三	四八、一六七	六三、二九六	六七、八三九	七二、八四三	六〇、三八四	六三、三九〇	一、五七三、六八〇
其ノ他ノ肥料											
合 計		四六、九〇三	四、〇五七、四五	七、三九、六三三	二、〇九、九五四	一、七、二八四、〇七六	二六、八三七、二一八	二、三、三九二、七三三	二七、二二、三九	二〇、八五二、五八	一、八、六八、四九三

第四表

備考 一、大正十四年以前ニ於ケル其ノ他肥料中ニハ硫酸「アンモニア」以外ノ礦物質肥料及調合肥料ヲ含ム
二、本表中大正十四年以前ハ朝鮮貿易年報ニ依リ昭和八年以降ハ朝鮮肥料取締令施行規則ニ基ク各道報告ニ依ルモノトス

販賣肥料輸出高表 (右數量 左金額 圓) 施

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
動物質肥料						二、一〇四、四四	八九〇、八四九	四一八、八七〇	一、九九九、〇三五	三、八二六、六七	一、四七四、九二七

備考 本表中大正十四年以前ハ朝鮮貿易年報ニヨリ昭和八年以降ハ朝鮮肥料取締令施行規則ニ基ク各道ノ報告ニ依ルモノトス

魚肥類	植物質肥料	油粕類	糠麩類	礦物質肥料	硫酸モアン	石灰窒素	化成肥料	其ノ他肥料	調合肥料	合計
	二、〇八一 五、九九五	一七、五二 三三	一、七四九 三四、七四四							二、〇八一 五、九九五
	三二 四四九		三二 四四九	四、〇六六、一六五 四、〇六六、一六五	三、八五八、八五五 三、八五八、八五五		一、八五一 二〇七、三二二			四、〇六六、一六五 四、〇六六、一六五
	一、八六四 四八	一、六六〇 三〇	二〇四 一八							一、八六四 四八
	二、〇四四 二四	一、二九六 三六	八五 三							二、〇四四 二四
	七、七五 八九〇、八四九	一一、三二 二二	五二 二二	二、八七三 二、五六六、三三八	一、八、九一三 二、一六八、六四五	四七六 四六八、八六一	二、四八四 三五〇、七三三		二〇、七四一 二〇、七四一	二、八、九一三 三、四八九、一三九
	三、四八六 四八、八七〇	一九三 一三、九二四	三〇 六六二	七六五 六七、二八七		七六五 六七、二八七				四、四四三 五〇〇、〇七一
	一、五、〇四三 一、九九九、〇三五	一、三、七三 一〇五、八四三	五九 二、八八四	一、三、四 一〇三、九六八		九、一〇三 九、一〇〇				一、三、九七 二、一三九、七七
	三、〇、二六〇 三、八六六、六〇七	三二六 三四、六九三	二〇、一七 二〇、一七							二、〇、五七六 三、八五、二九六
	七、九二 一、四七四、九二七	一〇七 一三、〇〇	四八 五、一四〇	二六 四、五八五			二六 四、五八五			一、四、〇〇 一、四、〇〇

第五表

販賣肥料移出高表
(右數量 左金額 圓施)

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
動物質肥料		七、七二 四六三、八二八	三三、〇二 二、七五七、九三三	五、五二三 五、〇〇〇、〇〇三	七三、五〇九 六、八六八、六八八	一四七、九一四 一三、〇三九、三八五	一六四、五三九 一五、七九〇、三〇八	二二一、一九六 二二、一〇〇、一五六	一七一、一七三 一九、八七八、六六四	一七一、三九八 三三、一四六、九三三	二四、九二三 四、九六六、二二八
魚肥類		七、七二 四六三、八二八	一二、二八四 一、九二八、九七三	五、一〇〇 四、九四四、九四七	七三、一三五 六、八四四、九〇四	一四七、四七九 一三、〇〇〇、六八三	一六三、八七三 一五、七四五、六六四	二二〇、五九二 二二、〇四七、六〇九	一七〇、九〇〇 一九、八五三、一〇五	一七〇、八五三 三三、〇七三、七六六	二四、五二二 四、八八三、九八四
骨粉類		九、七三七 八二九、〇〇〇	三〇、一 一八、七五三	三〇、一 一八、七五三	二六三 一七、〇四六	三三〇 三二、五六二	四九九 三五、二六六	四九〇 四一、七八三	二〇〇 一八、六二〇	四三三 五〇、九四三	四二〇 八二、二三四
其ノ他		一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三	一一一 六、三〇三
植物質肥料		二四、九五一 二六三、〇四八	四三、八三三 一、四〇〇、九九一	二七、三八三 六、九〇、三三三	四〇、五三八 一、七八四、四四〇	三三、九一七 一、四二七、〇九三	四三、八四七 一、九七六、二六三	六六、八九〇 二、六八八、〇五五	七八、八九八 四、二八二、九八三	五九、三九九 五、三三三、七〇〇	二二、八七二 三、〇四〇、〇九〇
大豆油粕		一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四	一一一 八四、六九四
棉實油粕		一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三	一一一 三、七七三
其ノ他		一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二	一一一 六、三三二
米糠		二四、九五一 二六三、〇四八	四三、八三三 一、四〇〇、九九一	二二、九二八 三、四四、七二六	一六、〇四五 二五、一、二三五	一三、五六二 二、八、〇六二	九、〇三三 一八〇、三七三	三、二六六 六九、一九三	三三、〇三三 九七九、二七三	八、七四七 四六、一〇五	三、九六九 三八三、〇〇二
礦物質肥料		一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七	一一一 二、六二三、九四七

	昭和十年				昭和十一年			
	調合肥料製造原料用		其他製造原料用(粉碎)		調合肥料製造原料用		其他製造原料用(粉碎)	
	一般營業者	農會	計	計	一般營業者	農會	計	計
魚肥類		四七、〇九五	二九、五七〇	七六、六五五		一、三三、三〇七	四、六〇〇	一、三三、三〇七
其ノ他、肥料、動物質ノ肥								
植物質肥料	六、七七一	一一、九三〇	六、一二四	一三、七三二	七三、三七三	一〇、三七三	七九八	二、一七二
油粕類	六、七八二	一一、九三〇	六、一二四	一三、七三二	七三、三七三	一〇、三七三	七九八	二、一七二
大豆油粕	六、七八二	一一、九三〇	六、一二四	一三、七三二	七三、三七三	一〇、三七三	七九八	二、一七二
棉實油粕		七、八二		七、八二		一〇、三七三	七九八	二、一七二
其ノ他油粕類			四、六二	四、六二			六、四六	六、四六
糠、穀類								
礦物質肥料	一、五、五五	五〇、二〇八		六、六六二	二、五八、一九三	九、九一、八二〇		二、五八、一九三
硫酸アンモニア	一、二、八四五	三、〇、〇四〇		四、一九九、九三	一、七六、五三〇	四、四〇〇		六、八六、二六〇
硝酸曹達		一、二、九三七		一、二、九三七		七、七四五		七、七四五

	昭和十一年				昭和十二年			
	調合肥料製造原料用		其他製造原料用(粉碎)		調合肥料製造原料用		其他製造原料用(粉碎)	
	一般營業者	農會	計	計	一般營業者	農會	計	計
魚肥料		四、五四三 四七九、三八一	七、四三二 七八二、八四八	一一、九七四 一、三六三、二九		五、二四一 六三二、六〇五	一一、八七五 一、四四四、九七九	二七、〇二六 二、〇五六、五九四
其ノ他肥料動		一八 一、一六九	三三 二、二九五	五〇 三、四六四		一四 一、〇五三		一四 一、〇五三
植物質肥料		一、〇七六、七六四 一、〇七六、七六四	一六〇 二、一〇〇	一三、八三一 一、〇八八、八六四		二、〇七六、七六三 二、〇四八、八二三	一〇、四八一 三、五一九三	三二、三三三 二、七四四、〇〇六
油粕類		一、〇七六、七六四 一、〇七六、七六四	一六〇 二、一〇〇	一三、八三一 一、〇八八、八六四		二、〇七六、七六三 二、〇四八、八二三	二、三九五 二、〇八九	二、〇八九 二、〇八九
大豆油粕		九、九三三 八六二、一六三	六〇 五、二三三	九、九三三 八六二、一六三		一七、〇九七 一、六八二、〇九五	一〇三 八、六四二	一七、二〇〇 一、六九〇、七三六
棉實油粕		二、七三八 二、四六三	一九 一、三五〇	二、七三七 二、五五三		三、六五五 三、六七八	一三 八、九	三、六六八 三、六六八
其ノ他油粕類			五、五八 五、五八	五、五八 五、五八			一〇、八八 一〇、八八	一〇、八八 一〇、八八
糖穀類								
礦物質肥料		四、九一、八四八 四、九一、八四八	一〇六、三六〇 九、三三三、九一	一六〇、六三三 一、三三五、七五九		四八、八六〇 三、五六六、六〇〇		二七、七三五 二、八五一、六三〇
硫酸アンモニア		二、六六八、五三三 二、六六八、五三三	六、七〇、〇三三 六、二八〇、七六九	九三三、七二四 八、九四九、二九三		二、二八二、五五〇 二、二八二、五五〇		一六、二八二、五五〇 一、六二八、八八〇
硝酸曹達								

鹽 安	過 磷 酸 石 灰	磷 酸 ア ル ミ ナ	硫 酸 加 里	鹽 化 加 里	化 成 肥 料	調 合 肥 料	其 ノ 他 肥 料	計
二五、七七一 一、二八三、四七七	二五、七七一 一、二八三、四七七	二、〇六〇 三三、六〇三	二、〇六〇 三三、六〇三	一八、二六五 一六、二六五	一八、二六五 一六、二六五	一八、二六五 一六、二六五	一八、二六五 一六、二六五	四、二九一、八四八 五、二七三
三、五三三 一、九七〇、〇二二	三、五三三 一、九七〇、〇二二	六、三六七 九八、一三九	六、三六七 九八、一三九	五七、一四二 四〇、八	五七、一四二 四〇、八	五七、一四二 四〇、八	五七、一四二 四〇、八	二〇、九〇三、七一九 一四、六〇七
七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三	七、六三三 七、六三三
三、五七九、九〇三 三、五〇〇、四七八	三、五七九、九〇三 三、五〇〇、四七八	八、四三七 一、二四九、七三三	八、四三七 一、二四九、七三三	五五、九 七五、四六	五五、九 七五、四六	五五、九 七五、四六	五五、九 七五、四六	一八六、五三 一五、九一、八〇
一、二五四、六七五 一、二五四、六七五	一、二五四、六七五 一、二五四、六七五	八、四三七 一、二四九、七三三	八、四三七 一、二四九、七三三	五五、九 七五、四六	五五、九 七五、四六	五五、九 七五、四六	五五、九 七五、四六	三、五八、八六〇 三、五八、八六〇
七、九三三 六、二九、三三九	七、九三三 六、二九、三三九	一、二〇、三六 一、九〇九、七七七	一、二〇、三六 一、九〇九、七七七	三〇、七八 一、二〇、三六	三〇、七八 一、二〇、三六	三〇、七八 一、二〇、三六	三〇、七八 一、二〇、三六	二四、九八、八二二 二四、九八、八二二
三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三	三、三、三三 一、七六〇、一七三
七、七四、〇四 一〇、八、四二	七、七四、〇四 一〇、八、四二	七、七四、〇四 一〇、八、四二	七、七四、〇四 一〇、八、四二	七、七四、〇四 一〇、八、四二	七、七四、〇四 一〇、八、四二	七、七四、〇四 一〇、八、四二	七、七四、〇四 一〇、八、四二	三〇、二八三、二六 三〇、二八三、二六

(其ノ三)

動物質肥料	昭和十四年				昭和十五年			
	調合肥料製造原料用 一般營業者	農 會	其他製造原料用(粉碎)	計	調合肥料製造原料用 一般營業者	農 會	其他製造原料用(粉碎)	計
	三、二二〇、六五九 三、二二〇、六五九	三、二二〇、六五九 三、二二〇、六五九	一、八八〇、九二二 一、八八〇、九二二	五、〇九一、五七一 三、〇〇五	三、二二七、六六五 三、二二七、六六五	三、二二七、六六五 三、二二七、六六五	三、二二七、六六五 三、二二七、六六五	六、四四九、〇五〇 二四、九八、八二二

	昭和十四年				昭和十五年			
	調合肥料製造原料用		其他製造原料用(粉碎)		調合肥料製造原料用		其他製造原料用(粉碎)	
	一般營業者	農會	計	計	一般營業者	農會	計	計
魚肥類		三、二〇七、一四三	九、六二六	三九、九七〇		三、一八五、二三〇	三、三二一	三、三二一、六六五
其他肥料		三、五二六		三、五一六		五二、一三五		五、一三五
植物質肥料		一、五八、三五七	七〇、〇二三	一、六四八、七〇		一、六四六、五八	一、七二一	一、六八〇、六二二
油粕類		一、五八、三五七	七〇、〇二三	一、六四八、七〇		一、六四六、五八	一、七二一	一、六八〇、六二二
大豆油粕		一、五八、三五七	七〇、〇二三	一、六四八、七〇		一、六四六、五八	一、七二一	一、六八〇、六二二
棉實油粕		一、五八、三五七	七〇、〇二三	一、六四八、七〇		一、六四六、五八	一、七二一	一、六八〇、六二二
其他油粕類		一、五八、三五七	七〇、〇二三	一、六四八、七〇		一、六四六、五八	一、七二一	一、六八〇、六二二
糠穀類								
礦物質肥料								
硫酸アンモニア								
硝酸曹達								

第七表

備考 本表ハ朝鮮肥料取締令施行規則ニ基ク各道報告ニ依ル、但シ昭和九年度マデハ農會系統ニ於ケル調合肥料製造原料供用高ハ不詳ナルヲ以テ記載セズ

計	其ノ他肥料	調合肥料	化成肥料	鹽化加里	硫酸加里	磷酸アルミナ	過磷酸石灰	鹽安
四、五〇六、九七三			二、三五四、一三八		一四五、五八		一八三、三六三	
三、七二八、八七〇			四、三三三、五九九		一、〇二六、四二七		六、二六、二六一	
一、九五〇、九三五								
三八、一七六、七六七			六、五七七、六九七		一、一六、九四五		六、二九八、六四四	
二、〇二六、一四一			一、〇五、八四六				一〇、一九三三	
三、四、六六八、九五三		九、四六六	七、五四三、二七九		一、一〇三、八六八		五、七三九、三〇六	八、四八五
三、二六五、七九								
三、九、九六〇、八七三		九、四六六	八、五九九、一三三		一、一〇三、八六八		五、八三三、三三八	八、四八五

販賣肥料消費高表 (右數量 左金額 圓)

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
動物質肥料		七九六 五七、一六八	四、〇〇〇 二九、四七〇	一五、九六六 七〇、五五一	五〇、八九二 二、九四七、一四六	二九、七三〇 一、八八五、三三七	一九、六六八 二、三九四、五六三	四、八八四 四〇八、三九九	三、二七三 五、五七、一六九	四、九二二 八〇八、四三三	三、四九八 八、〇八三、八八〇
魚肥類		七七三 五五、六二三	三、三八一 一八〇、一三一	一五、四九六 六六、九四五	五〇、〇三八 二、八九六、六七	二九、一五五 一、八四七、八九三	一九、二〇八 二、三六三、八一	三、二五四 三五四、二〇〇	三〇、三八九 五、四三一、七九三	三、七三六 六七〇、九四九	三、三八九 七、八〇三、五八八
其ノ他動物質肥料		二四 一、五五六	六九 三九、三三九	四七〇 二八、六二六	八六三 五〇、五三九	五七五 三七、四五四	四六〇 三〇、七五二	八三一 五三、〇九九	八八四 八五、七六六	一、一八三 一三七、四八四	一、一〇九 二七九、三九三
植物質肥料		七、二八 三六、三四九	九七、九八六 五、八六五、八四八	七八、四五五 二、九四九、五七〇	九四、一五三 三、六〇八、七三三	八四、五三二 二、七八、九三三	七七、八九五 二、八四九、七四〇	六七、七九 二、九〇四、七七〇	四、六八五 二、四〇五、八五六	五三、三四〇 四、〇三六、五七六	二七、一二三 三、五九二、一七三
油粕類		三、八四三 一九七、三二五	五三、九三三 五、〇八九、三二	四三、六四三 二、四八〇、五五六	五九、一四四 三、〇五四、二〇六	三三、五三〇 一、九三〇、六二九	三三、四〇五 二、三三、四〇八	三三、〇二二 二、四三九、四〇〇	二八、九四五 二、一六七、六六〇	三七、一七七 三、六四一、二六九	二八、二〇三 三、〇三三、四九二
大豆油粕		一、五六〇 八五、一七七	四五、五七五 四、六三三、七九四	三七、三三六 二、三九、五八一	五三、一四四 二、七三三、一四三	二四、一〇〇 一、六六六、四八三	二六、三〇四 一、八七四、〇九四	一八、一七九 一、六五五、七五四	一五、四六八 一、三三八、七八五	一四、四三三 一、二七〇、〇一九	九、七二五 一、八〇四、七二〇
菜種油粕		二六一 一七、六二三	元、〇〇二 二四二、五二	一、一七四 一三、四九五	一、三三三 一四九、一六六	三三〇 二〇、一二二	四四九 四〇、八八四	一、四六一 一九八、五三〇	一、一六三 一八七、五四八	一、五六七 二六八、八〇四	—
棉實油粕		—	—	—	—	四、六三一 九四、六四二	一、九八五 八四、〇六六	六、六三八 三八七、一三一	八、三六九 五五九、六〇〇	一一、一五六 一、〇八〇、五四〇	七、四六二 七四六、〇六五
其ノ他油粕類		二、〇三三 九四、五五五	五、四四四 四八三、九二六	四、一四三 一三七、五三〇	五、五九八 一八一、八九七	四、五六九 一四九、三八四	三、六六六 一三四、三六四	四、七三三 一九七、九八五	三、九四六 二六一、七三七	一〇、〇〇一 八四九、八〇六	三、八七三 四七二、七〇六
糠穀類		二、五八五 二四、三三三	二四、一九一 四九三、五九一	三三、三六九 四六五、二八〇	三三、七三二 五四三、五八九	四三、〇三六 七四四、五六七	三六、九五四 六七八、三六三	二六、一七三 四一六、五〇四	一〇、八七八 二二一、八二一	一三、八九九 六四七、八六九	七、七六六 五四八、九三三
其ノ他植物質肥料		七九〇 四、六六一	一〇、八五三 二八二、〇三六	二、四四四 一三、七三四	一、八三六 一一、九三〇	八、九七五 五、七四七	八、五三六 三七、九七〇	九、九八六 四八、八六六	一、八六三 二六、三八五	一、二九四 一四、五四三	一、一七四 二〇、七五八
礦物質肥料		五三三 三五〇、七七二	二、三三三 二、九三三、二七六	二八九、七五七 三、六五三、五五三	三六四、三六九 三〇、五九七、〇九八	四四四、〇〇一 四〇、九三五、〇三〇	五三二、四四三 五二、七四三、七四七	五五九、二三八 五五、〇三〇、九九九	五二、六四〇 四九、二四五、四九三	四三〇、七九八 四三、九二六、四九六	四二、七五五 四三、七九八、六八八

硫酸アンモニア	二〇、六六六	二、四〇〇、六二六	一八三、五七一	二二、四一八、七二七	二四三、八五一	三〇六、六〇〇	三七、八七〇	三、一四六、八六〇	二六、五七四、九八八	二四八、二二二
智利硝石			五八八	一、九〇三	三、〇九三	一、〇三六、五七	五、五三三	一、七二〇	一〇九、六〇七	九、九七〇
石灰窒素	三一、一五一		一九、九五四	二、三三三、三六五	三八、六五九	四、七三〇、五	四、〇七九、二一	四、四六二、三六	二、九九六、六四八	一六、七六四
過磷酸石灰	四、四五 一九、二五〇	八、四〇一 四三、七〇三	六四、三九九 一、七三〇、二五六	八四、〇〇四 二、五三三、六一九	二五、〇六八 四、三三三、三二〇	一〇、一〇八四 三、六二四、六九四	一九九、三八八 四、八九七、五八五	五九、五三二 三、四九三、八二七	五、六四六、〇	五、三三三、二八二
一六度					一一三、一九一 三、六四六、八五三	九、二六三 三、〇九〇、七三四	九〇、九六一 三、八三六、〇四七	五、六六七 三、四二一、八五二	四八、六九〇 三、〇四七、〇七七	四、五三〇
一九・五度					四、六三〇 一六八、〇五三	一、五七四 三、四七二	一一、九〇三 六、一九二、七九	一〇、一四七 一、〇、一四七	五、六八一 三、八、一六〇	二九、四六三
三〇度					六、七九三 四〇六、九〇九	八、三二七 四九九、二四一	五、五二〇 四四〇、八三〇	七、七二二 七、一八八	三、〇八九 三三、二二二	三、二二二
三九度					三、四九四 三、四九四	八	一、四三九 一、四三九			
磷酸ルミナ			一、一七八 四三、八六四	一、一五五 四三、八二七	七五二 六、〇二六	九五四 三、八〇一	三七〇 一〇、三六八	二〇一 二、〇六二	七、六六 四、二八八	
鹽化加里			一、五五四 	一、二一八 一四、〇七四	二八四 三、八七三	五 七、八八九	一、八六四 	二、〇六二 		
硫酸加里		二六、七一九 一六四	五三 一〇六、四二五	一、七三三 三七、二二七	一、四三八 二二、八三九	一、六四七 二四七、七〇〇	二、五二六 三、四、五五三	四、五九六 六、四、六七	四、三二二 六、六、二二〇	一、二五、三三三
化成肥料			二、三二、二四〇 二、三二、二四〇	三、七、七三四 四、〇、四、三三七	四、三、五九四 五、七、九三三	五、四、五三八 七、五、四九八	七、三、七四五 八、九、四九一	七、五、四三七 九、五、三、一七四	七、〇、一三三 八、八、七七二	六、〇、八〇五
其ノ他肥料	二、七二四 三	二、三三九 三〇八							五、〇六九 五三	二、七六四 二、六、二五

種別	年次	調合肥料	其ノ他肥料	合計	耕地一反歩當消費額
	大正四年	一〇六 一一、二六九		八、六五三 三〇、五五七 一錢	
	大正十四年	一、三三三 一三〇、五五五		一二四、六九一 九、一六九、一二九	二二
	昭和八年	二五、二〇一 一、四六六、八五三	一〇、九〇四 三、四七三	四三〇、二八三 二八、七八九、〇〇八	六五
	昭和九年	五、一二七 三、一七八、九二六	五二 二、三三三	五五〇、四九〇 四〇、三四四、二七	九一
	昭和十年	一三三、六九六 一〇、二七七、一三九	四七 二、一二三	七〇三、〇〇四 五、六五八、五三	一三五
	昭和十一年	一八九、三七一 一六、六九一、五八	六〇 三、〇四〇	八〇九、四三七 七三、六八二、六七七	一六六
	昭和十二年	二二八、九三八 一七、九四四、六二八	七二 三、八〇〇	八五五、四九〇 七四、二九二、四八六	一六八
	昭和十三年	三三三、三七三 三、八二三、七〇七	七八 五、八三四	九一九、〇四九 八九、九八八、〇四九	二〇三
	昭和十四年	三九四、〇〇四 四三、〇五四、〇三七	六七 四、九九九	八八二、一三〇 九〇、八三〇、五四一	二〇四
	昭和十五年	三六六、一三五 三九、七四四、六三二		八〇九、四九〇 九四、三三〇、三三三	二二三

備考 本表中大正十四年以前ハ報告例販賣肥料需給狀況ニ依リ昭和八年以降ハ朝鮮肥料取締令施行規則ニ基ク各道報告ノ製造高及輸移入高ノ計ヨリ輸移出高肥料製造原料供用高ノ計ヲ控除シタルモノニ更ニ持越量ヲ加減シタルモノトス

第八表

綠肥、堆肥ノ生産高表

(イ) 綠肥生産額 (單位面積 町) (内ハ貫)

種 別	年 次	
	大正四年	大正十四年
紫雲 英	作付反別 一、五、三	八、五八、一
	收量 二、二七九	一三八、三三〇
反當收量	一、四五六 (三八九)	一、六二〇 (四三三)
	昭和八年	昭和九年
紫雲 英	作付反別 八五、九八、九〇・四	九六、六四〇・三
	八六三、〇三〇	一、〇七四、三九六
反當收量	一、一、二、四 (一九七)	一、二、二、一 (三三三)
	昭和十年	昭和十一年
紫雲 英	作付反別 一〇五、〇三八・六	一〇七、五〇、八
	一、一六六、六九二	一、〇〇〇、三九四
反當收量	一、一〇八 (三三三)	一、〇、六 (二八三)
	昭和十二年	昭和十三年
紫雲 英	作付反別 七八、六四三・六	六〇、九八・五
	七八五、二四	六九〇、二〇一
反當收量	一、〇、六 (二八三)	一、一、六、六 (三三八)
	昭和十四年	昭和十五年
紫雲 英	作付反別 六〇、四三・三	六三、五〇、〇
	六八二、七六三	六五、八九九
反當收量	一、一、二、六 (三三三)	一、一、六、六 (三三八)

[illegible]

昭和八年以降ノ反當收量ハ收穫面積ニ依リ算出セルモノトス

(口) 堆肥生産額
(單位數) 八量
貫施

種別	年次	
	大正四年	大正十四年
全當 反耕 製地 造量	二、〇五一、九三三 〇・〇六五 (二四)	二、〇九六、五四〇 〇・二九八 (八〇)
	三、九六五、六三三 〇・五五四 (四九)	三、九六七、六三三 〇・五七〇 (一五)
	三、九四九、二六二 〇・五九三 (一五)	三、九四九、二六二 〇・五九三 (一五)
	三、七七八、六五四 〇・七七三 (一五)	三、七七八、六五四 〇・七七三 (一五)
	三、八四三、八四三 〇・六六六 (一七)	三、八四三、八四三 〇・六六六 (一七)
	三、〇六〇、五四三 〇・六三四 (一九)	三、〇六〇、五四三 〇・六三四 (一九)
	二、七六八、五四三 〇・六三三 (一六)	二、七六八、五四三 〇・六三三 (一六)
	三、〇二六、三八八 〇・六四四 (一八)	三、〇二六、三八八 〇・六四四 (一八)
	三、〇二六、三八八 〇・六四四 (一八)	三、〇二六、三八八 〇・六四四 (一八)
	三、〇二六、三八八 〇・六四四 (一八)	三、〇二六、三八八 〇・六四四 (一八)

第九表

自給肥料消費高表 (單位數量 千圓)

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
堆肥		二、〇五一、九三三 一一、一七六	一三、九六五、四〇〇 六六、三〇四	一四、〇四三、四〇二 一〇六、三三八	一四、九六九、四三三 一〇八、九〇三	一五、二九一、八六六 一一一、四六九	一五、四三八、三六四 一三三、二四四	一五、七三三、四〇五 一四七、二六六	一六、二六六、三九一 一七、二九	一七、七七一、三四三 一七一、六六四	一八、九三二、六二〇 二四、一八三
綠肥		一、七三五、四八四 六、三三〇	二、〇〇四、八八八 八、八五四	三、〇六七、二八二 一五、八七六	三、五四九、三五五 一八、九八二	三、八六五、五〇〇 二〇、二〇〇	三、三六六、九六七 一八、四九五	三、三四七、七六六 一八、〇八三	三、三八三、五八八 一八、九四二	三、二六〇、六七七 二〇、〇六六	三、〇八七、一八九 二〇、五五五
栽培綠肥		四三、五七 一一六	三三、九四一 二、七五〇	一、五〇〇、二八二 九、九六六	一、八四九、七四一 一二、七八一	二、二〇〇、七六六 一四、四七	一、九五〇、九七六 一三、〇九五	一、八二七、五九 一二、一三八	一、七七四、五九三 一二、二一五	一、七〇一、九七九 一二、五五五	一、六六九、四四四 一二、七六八
山野草		一、六八一、九五七 六、一〇四	一、六八一、九五七 六、一〇四	一、五〇七、〇〇〇 五、九〇〇	一、六九九、四八四 六、二〇一	一、六五四、七四四 五、八六三	一、四二五、九九二 五、四〇〇	一、五〇七、三三七 五、九四九	一、六〇九、〇〇五 六、八三六	一、五八六、六九八 七、五四二	一、四七七、八四四 七、八三三
糞尿類		五、〇三六、七四二 三三、一八六	五、五二三、三二一 二五、五五六	六、〇三四、四三三 二八、四四四	六、〇八九、四八八 二八、九九八	六、四四一、六四九 三四、〇三九	六、〇九一、二二一 三〇、四四五	七、〇八五、五五一 三四、五八	七、二四、三四四 三六、二九三	七、六五〇、二九八 四三、四九一	七、二六〇、八三二 四三、〇八七
人糞尿		三、三五四、〇八一 一五、〇九三	三、六五四、三三四 一六、四四四	四、三三一、九六六 一九、五五四	四、五四四、七八三 二二、一七四	四、四四〇、五五〇 二五、五五五	四、八九九、五〇二 三三、三五六	五、八四五、七七八 二四、六七八	六、〇五三、二〇五 二六、四三八	六、五四四、四五六 三三、七三三	六、一九〇、五〇四 三二、四〇七
糞灰		一、六三三、三三九 七、六三五	一、七六六、七五四 八、三〇四	一、五九七、七九七 七、五九九	一、五五三、五三三 六、二〇七	一、二五九、一〇〇 六、三三九	九九七、八六八 五、八六二	九九四、三三一 六、五〇〇	八四五、八四六 六、〇〇〇	六八六、〇六三 六、〇一八	七三七、七八六 七、二七八
鳥糞		三、二九〇 三五一	四三、二七三 五〇三	五五、五四四 七三九	六四、九三三 八七八	六六、五五六 一、一三八	七六、二八九 一、四七三	九四、九八〇 二、〇二一	九三、三三五 二、一八七	一〇三、一二五 三、〇九五	九五、七四三 三、七〇九
蠶渣		二〇、〇五二 一一七	四九、〇六一 二八六	八七、三六 五三	一〇一、七九二 六三〇	一一六、九九七 七九八	一二七、四三二 八二五	一四三、八〇五 一、二七二	一四〇、三三〇 一、三〇三	一五、五六五 一、六〇三	一五、六二〇 一、八二二
其ノ他ノ糞尿		一一	一一	一一	二五、三八八 一四六	五八、四六六 三四九	一一	六、七五八 二七	八二、八四八 三六六	一七四、〇八七 一、〇四五	九一、二七九 八三二

種別	年次	肥料消費高報告ニ依ル、但シ大正十四年以前ハ推定トス		
		灰類	雜類	總計
	大正四年	一、六八、〇三五	一、	一〇、四三、七三三
	大正十四年	二、七五〇、五八五	一、	四八、三六五
	昭和八年	一、一九〇、六七五	一、	一〇八、八四〇
	昭和九年	七、四一四	一、	一〇八、八四〇
	昭和十年	一、三三〇、二〇五	一、	一五、二四三
	昭和十一年	八、九四九	一、	一五、二四三
	昭和十二年	一、二六〇、三六五	一、	一五、二四三
	昭和十三年	一〇、一五八	一、	一五、二四三
	昭和十四年	一、三八三、九七五	一、	一八六、〇七
	昭和十五年	一、六三三、九二二	一、	一八六、〇七

備考 本表ハ各道肥料消費高報告ニ依ル、但シ大正十四年以前ハ推定トス

第十表

耕地一反歩當肥料消費高表 (單位數量 圓珎)

種別	年次	肥料消費高報告ニ依ル、但シ大正十四年以前ハ推定トス		
		灰類	雜類	總計
	大正四年	一、六八、〇三五	一、	一〇、四三、七三三
	大正十四年	二、七五〇、五八五	一、	四八、三六五
	昭和八年	一、一九〇、六七五	一、	一〇八、八四〇
	昭和九年	七、四一四	一、	一〇八、八四〇
	昭和十年	一、三三〇、二〇五	一、	一五、二四三
	昭和十一年	八、九四九	一、	一五、二四三
	昭和十二年	一、二六〇、三六五	一、	一五、二四三
	昭和十三年	一〇、一五八	一、	一五、二四三
	昭和十四年	一、三八三、九七五	一、	一八六、〇七
	昭和十五年	一、六三三、九二二	一、	一八六、〇七

備考 耕地面積ハ土地台帳登錄耕地ノミトス

第十一表

農家一戸當肥料消費高表 (單位數量
金額 圓貳)

種別	年次	大正四年	大正十四年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年
販賣肥料		〇・一三三	三・三四五	九・七七一	二一・七九二	二五・五	二四・六九	二四・八八	三〇・一九	三〇・七五	三・九三
自給肥料		三・九七 八・四〇	八・一〇七 三・六	二一・六五二 五・六六	二二・二五七 五・六〇	二二・六四三 六・三三	二二・一六三 六・三・七九	二二・二〇七 七・二・九七	二二・四九六 七・八・二八	二二・六五〇 八・九・七五	二二・八〇三 一〇・三・四八
計		三・九七〇 一八・五三	八・一一三 四・〇三	一一・七九〇 六・三・四三	二二・四四八 七・〇・三六	二二・八七八 八・〇・八三	二二・四三三 八・七・四八	二二・四九四 九・七・八五	二二・八〇四 一〇・八・四七	二二・九四九 一〇・三・五〇	二二・〇六八 一三・四・二一
農家戸數		二、六九、〇三二	二、七四、七〇三	三、〇〇九、五六〇	二、九三、八二七	二、九八、〇一七	二、九四、七六六	二、九八、八三六	二、九八、二〇五	二、九八、八五三	三、〇四、五五五

備考 農家戸數ニハ純火田民戸數ヲ含マズ

第四附錄

朝鮮肥料取締令

(昭和二年九月三日
制令第一四號)

第一條 肥料ノ取締ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外肥料取締法ニ依ル但シ同法第五條及第十一條第二號ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

肥料取締法中主務大臣トアルハ朝鮮總督トス

第二條 朝鮮總督ハ肥料營業者ヲ除クノ外自家用ニ非ザル肥料ノ製造、輸入、移入又ハ賣買ヲ爲ス者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ本令ノ全部又ハ一部ヲ適用スルコトヲ得

第三條 當該官吏ハ肥料營業者、運送業者、運送取扱業者又ハ倉庫業者ノ店舖、倉庫、工場、船車等ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢查シ心要ナル分量ニ限り無償ニテ肥料又ハ製造原料ヲ收去スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際肥料ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ、犯罪嫌疑者若ハ參考人ニ質問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索、質問及差押ニ關シテハ朝鮮間接國稅犯則者處分令ヲ準用ス

第四條 前條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢、檢查、收去、搜索若ハ差押ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者、質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者又ハ虛偽ノ記載ヲ爲シタル帳簿ヲ提示シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ肥料取締法第二條ニ規定スル肥料ニ關スル營業ヲ爲ス者其ノ營業ヲ繼續セントスルトキハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ本令ニ依リ免許ノ申請ヲ爲スベシ

本令施行ノ際現ニ前項ノ營業ヲ爲ス者ハ前項ノ期間其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ免許ノ申請ヲ爲シタル者ニ付前項ノ期間經過後其ノ申請ノ許否アル迄ノ間亦同ジ

肥 料 取 締 法

(明治四十一年四月十一日
法律第五十一號)

第一條 本法ニ於テ肥料ト稱スルハ植物ノ營養ニ供用スル物料ヲ謂フ

第二條 肥料ノ製造、輸入、移入又ハ賣買ヲ營業ト爲サムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受ク可シ

肥料ノ調合又ハ製造業ニ伴フ肥料トナルベキ副產物ノ產出ハ之ヲ肥料ノ製造ト看做ス

前項ノ製造業及副產物ハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條 前條第一項ノ免許願書ニハ製造者ニ在リテハ製造場ノ位置、製造及藏置ニ關スル設備、肥料ノ名稱及製造方法ヲ、輸入者、移入者又ハ賣買者ニ在リテハ肥料ノ名稱及營業所ノ位置ヲ記載スベシ

前項ニ依リ願書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスル時ハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第四條 肥料營業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ肥料ニ保證票ヲ添附スベシ

第五條 當該官吏ハ肥料營業者、運送業者又ハ倉庫業者ノ店舗、倉庫、工場、船車等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ニ付檢査ヲ爲シ必要ナル分量ニ限リ無償ニテ肥料又ハ製造原料ヲ收去スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際肥料ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スベキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯罪者處分法ヲ準用ス

第六條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者正當ノ理由ナクシテ其ノ免許ノ日ヨリ一年以内ニ開業セズ又ハ一年以上其ノ營業ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第七條 肥料營業者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ公益上必要ト認ムルトキハ地方長官ハ免許ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其ノ營業者ニ對シ三年ヲ超過セザル期間肥料營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ禁ズルコトヲ得

第八條 植物ノ營養ニ供用スル物料ニシテ地方長官ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタルモノハ之ヲ他ノ用途ニ供スル爲製造、輸入、移入又ハ賣買スル場合ニ限リ本法ヲ適用セズ

第九條 左ニ掲グル各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ肥料及原料ハ刑法第十九條ノ物ニ

非ザル場合ト雖之ヲ沒收スルコトヲ得

一 詐偽ノ行爲ヲ以テ免許ヲ受ケタル者

二 肥料ヲ偽造シ又ハ人ヲ欺罔スルノ目的ヲ以テ肥料ニ他物ヲ混和シタル營業者

三 偽造シ又ハ人ヲ欺罔スルノ目的ヲ以テ他物ヲ混和シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者

四 肥料ニ虚偽ノ保證票ヲ添附シタル營業者又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ他ノ肥料ニ使用シタル營業者

五 虚偽ノ保證票ヲ添附シタル肥料又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ使用シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第一號乃至第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料及原料ガ刑法第十九條ノ物ニ非ザルトキト雖之ヲ沒收スルコトヲ得

一 免許ヲ受ケズシテ肥料營業ヲ爲シタル者

二 第七條ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 免許又ハ認可ヲ受ケザル製造方法ニ依リ肥料ヲ製造シタル營業者

四 免許又ハ認可ヲ受ケザル肥料ヲ製造、輸入、移入又ハ賣買シタル營業者

五 認可ヲ受ケズシテ製造場ノ位置又ハ製造若ハ藏置ニ關スル設備ヲ變更シタル營業者

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第四條ニ依ル保證票ヲ添附セザル營業者

二 第五條ニ依ル處分ヲ拒ミタル者

第十二條 肥料營業者ガ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スベキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 肥料營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業員ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ズ

第十四條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ於ケル肥料ノ製造販賣又ハ販賣ノ免許ノ效力ハ明治四十一年十二月三十一日限トス

朝鮮肥料取締令施行規則

(昭和二年九月三日
府令八十七號)

改正(昭和四年十二月
第百四號)

(昭和十三年十一月三十日
第二百三十八號)

第一條 肥料製造營業ノ免許ヲ受ケントスル者ハ免許願書ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附

シ道知事ニ之ヲ提出スベシ

一 營業者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ名稱、主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏名以下同ジ）

二 營業所所在ノ場所

三 藏置所所在ノ場所

第二條 免許願書ニ記載スベキ肥料ノ製造方法ニハ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 原料ノ名稱

二 製造法ノ大要

三 第十四條第一項第一號又ハ第五號ニ該當スル肥料ニ在リテハ各原料ニ含有スル百分ノ一以上ノ窒素、

磷酸又ハ加里ノ最少量

四 保證票ヲ添附スベキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分量

第三條 肥料ノ輸入、移入又ハ賣買ノ營業ノ免許ヲ受ケントスル者ハ免許願書ニ左ノ各號ニ掲グル事項（賣買

ノ免許ヲ受ケントスル者ニ在リテハ第一號乃至第三號ニ掲グル事項）ヲ記載シタル書面ヲ添附シ道知事ニ之ヲ提出スベシ

一 營業者ノ氏名及住所

二 藏置所所在ノ場所

三 製造者ノ氏名（氏名トアルハ法人ニ在リテハ名稱以下同ジ）及其ノ主タル製造所所在ノ場所（此等ノ事項不明ナルトキハ肥料生産地）

四 保證票ヲ添附スベキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分量、二種以上ノ肥料ヲ調合シタル肥料（以下單ニ調合肥料ト稱ス）ニ限り仍其ノ原料ノ名稱及成分量

第四條 調合肥料ニハ其ノ名稱ニ調合肥料ナル文字ヲ冠スベシ

第五條 肥料賣買營業ノ免許願書又ハ認可願書ニ記載スベキ肥料ノ名稱ハ左ノ各號ニ掲グル肥料ニ限り普通肥料ト記載シ其ノ各別ノ名稱ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

一 第十四條第一項各號ノ肥料

二 溶劑ヲ使用セズシテ製造シタル大豆油粕、魚肥類、人糞尿、獸肉搾粕、干蠶蛹、米糠又ハ草木灰

第六條 道知事ニ於テ肥料營業ニ關スル免許又ハ認可ノ出願ニ對スル處分ノ爲必要アリト認ムルトキハ其ノ出願者ニ對シ肥料又ハ其ノ原料ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ肥料又ハ其ノ原料ノ提出ヲ命ジタル場合ニ於テ指定ノ期間内ニ之ヲ提出セザルトキハ道知事ハ免許願書又ハ認可願書ヲ却下スルコトヲ得

第七條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者（以下單ニ肥料營業者ト稱ス）ガ行商ヲ爲サントスルトキハ行商地ヲ管轄スル道知事ニ願出デ行商鑑札ヲ受クベシ

前項ノ行商地ガ肥料營業ノ免許ヲ與ヘタル道知事ノ管轄區域外ナルトキハ願書ニ肥料營業ニ關スル免許願

書、認可願書及其ノ添附書類並免許書及認可書ノ寫ヲ添ヘ行商地ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ提出スベシ
前項ノ規定ニ依リ道知事ニ提出シタル書類ノ寫ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク其ノ旨届
出ヅベシ

第一項ノ規定ニ依リ行商鑑札ヲ受ケタル者ガ自ラ行商ヲ爲ス場合ニ於テハ之ヲ携帯シ雇人其ノ他ノ從業者
ヲシテ行商ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各自ニ之ヲ携帯セシムベシ

第八條 肥料營業者ノ氏名若ハ住所（法人ニ在リテハ名稱、主たる事務所ノ所在地若ハ代表者ノ氏名）又ハ行商ヲ爲サシムル雇人其ノ他ノ從業者

（以下單ニ行商者ト稱ス）ヲ變更シタルトキ若ハ其ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ肥料營業者ハ二週間以内ニ行商地
ヲ管轄スル道知事ニ行商鑑札ノ書替ヲ願出ヅベシ

肥料營業者ガ行商ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク行商鑑札ヲ返納スベシ行商者死亡シタルトキ其ノ者ノ行商
鑑札ニ付亦同ジ

肥料營業者ガ死亡シタルトキハ其ノ相續人（法人ノ合併アリタル場合ニ於テハ合併後存續スル）ニ於テ遲滯ナク行商鑑
札ヲ返納スベシ

第九條 肥料製造營業者ガ營業所所在ノ場所ヲ變更セントスルトキ又ハ肥料ノ輸入若ハ移入營業者ガ肥料ノ
保證成分量若ハ調合肥料ニ在リテハ其ノ原料ノ名稱若ハ成分量ヲ變更セントスルトキハ道知事ノ認可ヲ受
クベシ

第十條 肥料營業者ハ第一條第一號及第三號若ハ第三條第一號乃至第三號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ 其ノ營業ヲ廢止若ハ休止シタルトキ又ハ其ノ休止シタル營業ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク各製造場、營業所若ハ藏置所所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ其ノ旨届出ヅベシ

肥料營業者ガ死亡シタルトキハ其ノ相續人ニ於テ遲滯ナク其ノ旨届出ヅベシ

第十一條 肥料營業者ハ其ノ營業ノ免許又ハ肥料取締法第三條第二項若ハ本令第九條ノ認可アリタル場合ニ於テ其ノ製造場、營業所又ハ藏置所ガ二以上ノ道ニ互ルトキハ其ノ免許又ハ認可ノ日ヨリ二週間以内ニ願書、其ノ添附書類、免許書及認可書ノ寫ヲ添へ其ノ旨關係道知事ニ届出ヅベシ

第十二條 肥料營業者ハ各製造場及營業所ニ其ノ營業ニ關スル願書、其ノ添附書類、免許書、認可書及届書又ハ其ノ寫ヲ備へ置クベシ

第十三條 左ノ各號ニ掲グル副産物ハ肥料取締法第二條第二項ノ副産物トス

一 大豆油粕、菜種油粕、棉實油粕、荳油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花生油粕、亞麻仁油粕、麻實油粕、植物雜油粕及米糠油粕

二 魚族搾粕、魚族荒粕、獸肉搾粕及蠶蛹油粕

三 硫酸「アンモニア」、加里鹽類及「トーマス」燐肥

前項ノ副産物ヲ產出スル製造業ハ肥料取締法第二條第二項ノ製造業トス

第十四條 左ノ各號ニ掲グル肥料ヲ製造、輸入又ハ移入スル營業者ハ肥料ノ主成分量ヲ保證スル爲其ノ製造、輸入又ハ移入後遲滯ナク容器ヲ使用スルモノニ在リテハ其ノ外部見易キ所ニ、容器ヲ使用セザルモノニ在リテハ各箇ノ外部ニ保證票ヲ添附スベシ

一 過磷酸石灰、重過磷酸石灰、沈澱磷酸石灰、「トーマス」燐肥、其ノ他ノ磷酸鹽類、硝酸鹽類、「アンモニア」鹽類、石灰窒素、加里鹽類及化學的方法ニ依リ製造シタル肥料

二 骨粉、骨炭末、骨灰、肉粉、「タンケージ」、乾血及「グアノ」

三 菜種油粕、棉實油粕、荏油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花生油粕、亞麻仁油粕、麻實油粕、植物雜油粕、米糠油粕、溶劑ヲ使用シテ製造シタル大豆油粕及蠶蛹油粕

四 特ニ粉碎シタル肥料

五 調合肥料

前項ノ規定ハ肥料營業者ガ保證票ヲ添附シタル肥料ノ容器ヲ開キ若ハ之ヲ變更シタル場合、保證票ヲ添附スベキ肥料ニシテ其ノ添附ナキモノ、保證票ニ第十六條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ記載ヲ缺キタルモノ若ハ其ノ記載ノ不明ナル保證票ヲ添附シタルモノヲ取得シタル場合又ハ天災其ノ他特別ノ事故ニ因リ其ノ主成分量ニ異動ヲ生ジタル場合ニ之ヲ準用ス保證票喪失シ又ハ著シク毀損若ハ汚染シタル場合亦同ジ

第十五條 道知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前條ニ掲ゲザル肥料ニ付朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ肥料ノ製

造、輸入又ハ移入營業者ニ保證票ノ添附ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ保證票ノ添附ヲ命ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ道知事ハ其ノ肥料ニ含有スル百分ノ一未滿ノ主成分量ニ付テモ之ガ記載ヲ命ズルコトヲ得

第十六條 保證票ニハ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 保證票ナル文字

二 肥料ノ名稱

三 肥料百分中ノ主成分量

四 保證票ヲ添附スル者ノ氏名、主タル營業所所在ノ場所及營業ノ種別

五 前各號ニ掲グルモノノ外肥料製造營業者ニ在リテハ其ノ肥料製造ノ年月及製造場所在ノ場所、輸入若

ハ移入ノ營業者ニ在リテハ肥料ノ輸入若ハ移入ノ年月、其ノ肥料製造營業者ノ氏名（其ノ氏名不明ナルトキハ其ノ仕入先）、肥料賣買營業者ニ在リテハ其ノ肥料ノ製造、輸入若ハ移入營業者ノ氏名（其ノ氏名不明ナルトキハ其ノ仕入先）及保證票添附ノ年

月

前項第三號ノ主成分量ニハ左ノ區別ニ從ヒ肥料ニ含有スル百分ノ一以上ノ主成分ノ最少量ヲ記載スベシ

一 「アンモニア」鹽類

「アンモニア」性窒素

二 硝酸鹽類

硝酸性窒素

三 過磷酸石灰及重過磷酸石灰 可溶性磷酸

四 沈澱磷酸石灰及「トーマス」磷肥 枸橼酸液ニ溶解スル磷酸

五 前二號以外ノ磷酸鹽類 水溶性磷酸及水ニ溶解セズシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル

磷酸

六 加里鹽類 水溶性加里

七 有機質肥料 窒素全量、磷酸全量及加里全量

八 前各號以外ノ肥料 窒素全量、「アンモニア」性窒素、硝酸性窒素、磷酸全量、可溶性磷

酸、（又ハ水溶性磷酸、水ニ溶解セズシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル磷酸若ハ枸橼酸液ニ溶解スル磷酸）加里全量及水溶性加里

前項ノ規定ニ依ル可溶性磷酸ノ記載ハ、水溶性磷酸ノ量ト水ニ溶解セズシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル磷酸ノ量トノ合計量ニ付之ヲ爲スベシ

第十七條 保證票ニハ前條ニ規定スル事項、肥料ノ正味量、商標及商號ヲ除クノ外他ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ズ

第十八條 當該官吏ガ検査ノ爲必要ナル肥料又ハ製造原料ヲ收去セントスルトキハ其ノ肥料又ハ製造原料所在ノ場所ノ所有者、借主若ハ管理者、從業者、同居者又ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ

爲スベシ

收去シタル肥料又ハ製造原料ハ之ヲ容器ニ密封シ之ニ肥料又ハ製造原料ノ名稱、肥料營業者ノ氏名並收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏及立會人之ニ署名封印スベシ立會人署名封印セズ又ハ署名封印スルコト能ハザルトキハ其ノ旨附記スベシ

第十九條 朝鮮肥料取締令第三條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル臨檢、搜索、質問及差押ニ關シテハ朝鮮間接國稅犯則者處分令施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

第二十條 肥料營業者ガ肥料ヲ輸入若ハ移入シタルトキ又ハ輸入地若ハ移入地ニ於テ輸入若ハ移入ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚又ハ荷卸後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並ニ陸揚又ハ荷卸ノ場所及年月日陸揚又ハ荷卸地ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

第二十一條 肥料營業者ハ各營業所ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ讓受ケ又ハ肥料營業者ニ之ヲ讓渡ス每ニ其ノ名稱、數量、價額、年月日並相手方ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ主タル事務所ノ所在地）ヲ記載スベシ

肥料製造營業者ハ前項ノ外其ノ製造場ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ製造スル每ニ其ノ名稱、數量及年月日ヲ記載スベシ

前二項ノ帳簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ二年以上之ヲ保存スベシ

第二十二條 肥料製造營業者ハ各製造場ニ於テ前年中ニ製造シタル肥料及製造ノ原料ニ供シタル肥料ニ付名

稱別ノ數量及價格ヲ毎年二月末日迄ニ其ノ製造場所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

肥料營業者ハ各營業所ニ於テ前年中ニ輸入、移入、輸出又ハ移出シタル肥料ニ付前項ノ規定ニ準ジ其ノ營業所所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ヅベキ事項ナキトキハ其ノ旨届出ヅベシ但シ輸出及移出ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ肥料營業者ガ其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ其ノ届出ト同時ニ前三項ノ規定ニ準ジ届出ヅベシ

肥料營業者ガ死亡シタルトキハ其ノ相續人ニ於テ其ノ届出ト同時ニ第一項乃至第三項ノ規定ニ準ジ届出ヅベシ

第二十三條 肥料營業ニ關スル免許、認可若ハ免許ノ取消、營業ノ停止若ハ制限又ハ營業ニ關スル行爲ノ禁止ニ關スル處分ハ製造營業ニ在リテハ製造場所在ノ場所ヲ、輸入、移入又ハ賣買營業ニ在リテハ營業所所在ノ場所ヲ管轄スル道知事之ヲ行フモノトス

第二十四條 肥料營業者ヲ除クノ外自家用ニ非ザル肥料ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ願書ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ記載シ道知事ノ認可ヲ受クベシ

一 肥料ノ名稱、數量及價額、第十四條第一項各號ニ掲グル肥料ニ在リテハ尙其ノ保證成分量

二 製造者ノ氏名(其ノ氏名不明ナルトキハ生産地)

三 輸入又ハ移入ノ期日及場所

四 調合肥料ニ在リテハ其ノ原料ノ名稱及成分量

五 用途

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第四條、第七條第一項及第四項、第八條乃至第十二條、第十七條、第二十條乃至第二十二條又ハ第二十四條ノ規定ニ違反シタル者

二 肥料ノ效能ヲ誇稱シテ虚偽ノ廣告ヲ爲シタル者

三 保證票ノ添附ヲ要セザル肥料ニ虚偽ノ主成分量ヲ記載シタル票箋ヲ添附シタル者

附 則

本令ハ朝鮮肥料取締令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ製造、輸入又ハ移入シタル肥料ヲ所有スル者ニシテ肥料取締法第二條ニ規定スル肥料ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ肥料ノ名稱及數量ヲ肥料所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ本令ニ依リ保證票ノ添附ヲ要スルモノニ在リテハ尙之ヲ添附スベシ
前項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

朝鮮重要肥料業統制令

(昭和二年三月六日
制、令 一 號)

第一條 本令ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ肥料製造業及農業經營ノ改善發達ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本令ノ適用ヲ受クル肥料ノ種類ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令ニ於テ肥料製造業ト稱スルハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ肥料ヲ製造スル事業ヲ謂フ

第三條 肥料製造業者肥料ノ生産、販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ニ關スル統制協定ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

朝鮮總督肥料ノ需給ノ圓滑又ハ價格ノ公正ヲ圖ル爲其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ肥料製造業者ニ對シ前項ノ統制協定ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

朝鮮總督公益上必要アリト認ムルトキハ肥料製造業者ニ對シ前二項ノ統制協定ノ全部又ハ一部ノ變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得

第四條 朝鮮總督公益上必要アリト認ムルトキハ肥料製造業者ニ對シ製造數量ノ増減、販賣價格ノ變更其ノ他生産又ハ販賣ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第五條 朝鮮總督公益上必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ制限スルコトヲ得

第六條 朝鮮總督ハ肥料製造業者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル

命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

朝鮮總督監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ肥料製造業者ノ事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務及財産ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條第一項ノ規定ニ違反シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケズシテ統制協定ヲ爲シ又ハ之ヲ變更シタル者

二 正當ノ事由ナクシテ第三條第二項又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第五條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ爲シタル者

前項第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料ハ之ヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵スルコトヲ得

第八條 正當ノ事由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ檢查ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ其ノ他朝鮮總督ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條 當該官吏又ハ其ノ職ニ在リタル者本令ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル個人又ハ法人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者其ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキ罰前項ニ同ジ

第十條 肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十一條 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

朝鮮重要肥料業統制令施行期日ノ件

(昭和十二年三月九日
府令一三三號)

朝鮮重要肥料業統制令ハ昭和十年三月十日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮重要肥料業統制令施行規則

(昭和十二年三月九日
府令一四四號)

第一條 朝鮮重要肥料業統制令(以下單ニ重要肥料業統制令ト稱ス)

第二條第一項ノ肥料ノ種類ハ左ニ掲グルモノトス

一 硫酸アンモニア

二 石灰窒素

三 過磷酸石灰（重過磷酸石灰ヲ含ム）

硫酸アンモニアヲ八割以上含有スル肥料ハ重要肥料業統制令中輸出又ハ輸入ニ關スル規定ノ適用ニ付テハ之ヲ前項第一號ノ肥料ト看做ス

第二條 重要肥料業統制令第二條第二項ノ肥料製造業ハ前條第一項各號ノ一ニ該當スル肥料ヲ製造スル事業トス但シ副產物トシテ硫酸アンモニアヲ製造スル事業ニシテ其ノ製造數量常時月額千瓩ニ達セザルモノヲ除ク

第三條 肥料製造業者ハ事業ヲ開始シタル後一月以内ニ左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一 氏名及住所（法人ニ在リテハ名稱、事務所ノ所在地、定款竝ニ役員ノ氏名及住所）

二 當該肥料ノ製造工場ノ所在地、製造方法及一年間ノ工場別製造能力

三 當該肥料ノ販賣方法

四 兼營事業又ハ附帶事業ノ概要

肥料製造業者事業開始後前項第四號ノ事業ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第一項各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四條 肥料製造業者重要肥料業統制令第三條第一項ノ許可ヲ受ケントスルトキハ協定事項及統制ノ組織又ハ變更セントスル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ許可申請書ニハ統制協定又ハ其ノ變更ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面、統制協定又ハ其ノ變更ヲ證スル書面及協定事項ノ基礎ヲ明ニスル書面ヲ添附スベシ

第五條 肥料製造業者重要肥料業統制令第三條第二項ノ命令ニ依リ統制協定ヲ爲シタルトキハ其ノ實施前豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル書面、統制協定ヲ證スル書面並ニ協定事項ノ基礎ヲ明ニスル書面ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

肥料製造業者ハ第一項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ其ノ協定ニ基キ肥料ノ生産、販賣等ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第六條 肥料製造業者重要肥料業統制令第三條第三項ノ命令ニ依リ統制協定ノ全部又ハ一部ノ變更又ハ取消ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七條 肥料製造業者ハ毎年六月末日迄ニ其ノ年八月一日ヨリ翌年七月末日迄ノ間ニ於ケル月別製造豫定數量ヲ定メ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

前項ノ月別豫定數量ヲ變更セントスルトキハ其ノ實施期日ノ一月前迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
前二項ニ規定スル期日及期間ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得

第一項及第二項ノ届書ニハ當該期間内ニ於ケル需給推算其ノ他月別製造豫定數量ノ決定又ハ其ノ變更ニ關
スル基礎資料及説明書ヲ添附スベシ

第八條 肥料製造業者ハ肥料ノ販賣ニ關シ左ニ掲グル事項ヲ定メ其ノ實施期日ノ一月前迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ
届出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一 受渡月別ノ包裝物一箇當朝鮮内各驛著渡賃込價格（第一條第一項第三號ノ肥料ニ付テハ工場渡價格ニ
依ルコトヲ得）及撒物一施當工場渡價格

二 前項ノ價格ヲ以テ行フ取引條件（入目又ハ増目、代金決済方法等）

三 特別ノ事由ニ因リ前二號ノ販賣條件ト異ル販賣條件ニ依ル取引ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ販賣價格及取
引條件

四 第一號又ハ第三號ノ價格中ニ算入セラレタル割戻手數料ノ額竝ニ第一號又ハ第三號ノ價格中ニ包裝費
出荷費又ハ運賃諸掛ヲ含ムモノニ在リテハ各其ノ額

五 實施期日

六 實施期間

七 前各號ノ外販賣ニ關シ定メタル事項

前項ノ届書ニハ販賣價格ノ決定又ハ其ノ變更ニ關スル基礎資料及説明書ヲ添附スベシ

第九條 肥料製造業者ハ毎月十日迄ニ其ノ前月ニ於ケル業務ノ狀況ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

肥料製造業者ハ每營業期ニ於ケル業務ノ狀況ヲ其ノ營業期經過後遲滯ナク朝鮮總督ニ報告スベシ

肥料製造業者ハ每營業期經過後遲滯ナク財産目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面ヲ

朝鮮總督ニ提出スベシ

第十條 重要肥料業統制令第六條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第十一條 第五條第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ昭和十二年三月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ肥料製造業ヲ營ム者ハ本令施行ノ日ヨリ十日以内ニ左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一 本令施行ノ日ヨリ昭和十二年七月末日迄ノ間ニ於ケル當該肥料ノ月別製造豫定數量

二 第三條第一項各號及第八條第一項各號ニ掲グル事項

第七條第二項、同條第四項、第八條第一項後段及同條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ付之ヲ準用ス

九十一ミリメートル

第

號

年

月

日

交付

朝鮮重要肥料業統制令第六條第二項ノ證票

表 面

官 職 氏

名

朝鮮總
督府印

ル ト ー メ リ ミ 四 十 六

裏 面

朝鮮重要肥料業統制令摘要

第六條第二項 朝鮮總督監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ肥料製造業者ノ事務所

其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務及財産ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第八條 正當ノ事由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査

ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ其ノ他朝鮮總督ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金

ニ處ス

朝鮮臨時肥料配給統制令

(昭和二年二月一〇日)
制 令 一八八號

八八

第一條 朝鮮總督ハ支那事變ニ關聯シ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ肥料ノ販賣、使用、消費、移動又ハ輸出入ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二條 朝鮮總督又ハ道知事必要アリト認ムルトキハ肥料ノ製造、取引、保管又ハ運送ヲ業トスル者ニ對シ前條ノ命令ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

第三條 第一條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 第二條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條 肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ爲ス命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第六條 本令ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年

者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

朝鮮臨時肥料配給統制令施行期日ノ件

(昭和十三年一月八日
府令五號)

朝鮮臨時肥料配給統制令ハ昭和十三年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮臨時肥料配給統制令第一條ノ規定ニ依ル粗製加里

鹽類ノ輸入及販賣ニ關スル件

(昭和十三年七月十八日
朝鮮總督府令第四百十二號)

朝鮮臨時肥料配給統制令第一條ノ規定ニ依ル粗製加里鹽類ノ輸入及販賣ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者其ノ輸入ニ係ル粗製加里鹽類ヲ肥料トシテ販賣セントスルトキハ豫メ

其ノ販賣先別割當數量ヲ決定シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二條 粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者輸入ヲ爲サントスルトキハ豫メ粗製加里鹽類ノ月別輸入豫定數量及販

賣豫定價格ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三條 粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者ハ毎月十日迄ニ前月ニ於テ輸入シタル粗製加里鹽類ノ數量及輸入沖著價格竝ニ前月ニ於テ販賣シタル粗製加里鹽類ノ販賣先別數量及價格ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

粗製加里鹽類ノ輸入ヲ爲ス者本令施行前ニ爲シタル販賣契約ニ基キ本令施行後肥料トシテ粗製加里鹽類ノ引渡ヲ爲ス場合ニ於テハ本令施行後遲滯ナク其ノ販賣先別數量ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

過磷酸石灰、石灰窒素、粗製加里鹽類等肥料輸出許可

規則

(昭和十四年八月九日 府令第二百二十九號) 改正 (昭和十五年六月八日 府令第一四二號)

朝鮮臨時肥料配給統制令第一條ノ規定ニ依リ過磷酸石灰、石灰窒素、粗製加里鹽類等肥料輸出許可規則左ノ通定ム

第一條 左ニ掲グル肥料ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ

一 過磷酸石灰 (重過磷酸石灰ヲ含ム)

二 石灰窒素

三 粗製加里鹽類（粗製硫酸加里及粗製鹽化加里）

四 智利硝石

五 調合肥料、化成肥料及之ニ類スル肥料（朝鮮重要肥料業統制令施行規則第一條第二項ニ規定スルモノヲ除ク）

第二條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ニ注文アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一 肥料ノ種類及名稱

二 數量及價額（種類別ニ記載スベシ）

三 賣渡先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所ノ所在地

四 仕向地及仕向港

五 輸出地

六 輸出時期

第三條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者前條第一號乃至第四號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第一條ノ許可ヲ受ケタル者前條第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出

ツベシ

第四條 朝鮮總督第一條ノ許可ヲ爲ストキハ輸出ノ期間ヲ指定ス

朝鮮總督ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限り前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトアルベシ

第一條ノ許可ヲ受ケタル者前二項ノ期間内ニ輸出ヲ爲サザルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第五條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ肥料ノ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸出許可書ヲ輸出ノ手續ヲ爲スベキ税關ニ提出スベシ

第六條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者輸出ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出ツベシ

一 輸出ノ許可ヲ受ケタル肥料ノ種類、名稱及數量竝ニ許可ノ年月日

二 輸出ヲ爲シタル肥料ノ種類竝ニ名稱別ノ數量及價格

三 仕向地及仕向港

四 輸出地

五 輸出ノ年月日

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮肥料販賣價格取締規則

(昭和十四年三月六日
府令第二十五號)

朝鮮臨時肥料配給統制令第一條ノ規定ニ依リ朝鮮肥料販賣價格取締規則左ノ通定ム

第一條 朝鮮總督ノ指定スル肥料ヲ販賣スルモノハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ朝鮮總督又ハ道知事ノ指定スル販賣價格ヲ超ユル對價ヲ以テ當該肥料ヲ販賣(指定前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム)スルコトヲ得ズ但シ已ムヲ得ザル事由ニ依リ卸賣ニ付テハ朝鮮總督、小賣ニ付テハ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ノ肥料ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ニ當リ前條ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル對價ヲ以テ當該肥料ヲ販賣シタルト同一ノ利益ヲ舉グル目的ヲ以テ買戻約款ヲ附シ、他ノ肥料ヲ併セ販賣シ其ノ他之ニ類スル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

附 則

本令ハ昭和十四年三月十日ヨリ之ヲ施行ス

特殊農產物種子需給調整規則

(昭和十五年七月二十二日
府令第六十號)

昭和十二年法律第九十二號第二條及第三條ノ規定ニ依リ特殊農產物種子需給調整規則左ノ通定ム

第一條 本令ニ於テ特殊農產物種子ト稱スルハ紫雲英、ヘアリーベツチ及ザートウイツケンノ種子竝ニ棉實ヲ謂フ

第二條 特殊農產物種子ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外道知事ノ指定シタル特殊農產物種子取扱業者（以下單ニ取扱業者ト稱ス）ニ非ザレバ之ヲ買受クルコトヲ得ズ

一 公用又ハ公共ノ用ニ供スル場合

二 自家播種用ニ供スル場合

三 農會、朝鮮金融組合聯合會、産業組合又ハ殖産契ニ於テ賣買又ハ賣買ノ斡旋ヲ爲ス場合

四 特別ノ事由ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合

第三條 特殊農產物種子ヲ輸入、輸出、移入又ハ移出セントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ具シ豫メ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

但シ公用若ハ公共ノ用ニ供スル場合又ハ農會ニ於テ斡旋スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 種子ノ名稱及生産地又ハ取得地

二 數量及價額

三 仕向地又ハ仕入地

四 輸移出入港又ハ仕出驛若ハ着驛

五 輸移出入ノ時期

第四條 朝鮮總督又ハ道知事必要アリト認ムルトキハ取扱業者ニ對シ特殊農產物種子ノ買受ノ地域、場所又ハ時期ヲ指定スルコトヲ得

第五條 朝鮮總督又ハ道知事ハ特殊農產物種子ノ需給ノ調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ特殊農產物種子ヲ所有スル者ニ對シ販賣先、販賣時期又ハ販賣條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第六條 朝鮮總督又ハ道知事必要アリト認ムルトキハ取扱業者ニ對シ其ノ營業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 道知事ハ取扱業者營業ノ繼續困難ナリト、認ムルトキ又ハ其ノ行爲ガ法令ニ違反シ其ノ他需給關係ノ調整ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ營業ノ停止ヲ命ジ又ハ指定ヲ取消スコトヲ得

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス